

本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄 (一九二一—二五年)

大正十年より同十四年に至る五箇年分

農學博士 西門 義一
松本 弘義
菅原 一

編者等暫に本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄の第一編として昭和の第一年たる一九二六年内に於て發表せられたる出版物の目錄を本誌第十一卷(農學研究第十一卷一三二—一六八頁昭和二年十二月十日發行)に公にした。而も其目錄は其引用の範圍も狭く頗る不備不完なる物である事を自覺して居る。けれども不備の點は漸次追加是正する事も出来、且又斯うした文獻目錄は不完全でも無いには勝る物であるから、之が編纂を繼續する事の徒爾でない事を信じて居る。それで今度其第二編として大正十年から十四年まで五ヶ年間に公表せられた本邦の植物病害に關係ある文獻の目錄を上梓にする事とした。

其文獻の分類等は第一編と同様であるが從來の分類の第一—七項目に入れるには多少不便を感じる物があるから其等を一纏めにして第八項、雜類なる一項を設けて之に收むる事にした。其他編纂の體裁、引用出版物名の略稱或は卷號頁

等の記の方法も第一編に準じてある。只本編では大正十年以來五ヶ年間の物を編纂したのであるから著者名の下に括弧内に出版年度を加ふる事にした。出版年度は西曆年數で、簡單を期する爲め之より一九〇〇年を減じたる數字を掲げた。例へば(二四)は一九二四年即ち大正十三年内の出版なる事を意味する。

各地農事試験場の業務功程に掲げられて居る事項は多くは試験の進行中の物で未だ完結してない物も多い。故に此等は他の一般文獻と多少趣を異にする。従つて余等は本編の編纂に當り各地農事試験場の業務功程中の事柄は之を一括して、之を各分類項目の最後に掲げた。且つ業務功程では各試験項目の下に括弧を附して其試験年度を記した。其數字は大正年度を示す物で業務功程の「一二」は大正十二年度業務功程を意味する。

第一編には外國文獻の單なる抄録をも掲げたが本編では簡單を期する爲めに之が掲載は省略した。

尙第一編で編纂洩れとなつた一九二六年の出版物は本編に追補する筈であるが、都合上各地農事試験場の業務功程に掲げられた物だけを掲ぐるに止め一般の物は第三編たる一九二七年の文獻目錄に追加輯録する事とした。

參 照 出 版 物 名

本目錄編纂に當りて参照せる出版物並に其卷號數は次の如し。字側の・印は略稱記號用文字を示し括弧内の數字は出版年度を示すもので西曆年數より一九〇〇を減じたる年數である。

秋田縣立農事試験場特別報告 (二二・二三・二五)

安城農報 一三六(二四・二五)號

病蟲害叢報 九一・一六號

病蟲害雜誌 八一・二(二二・二五)卷

大日本農會報 四七七・四八九(二二)五〇三・五四一(二三・二五)號

本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二二・二五)

學 藝 三九—四〇(三二—三三)號

- 北海道農事試驗場彙報 二六—三八(三二—三三)號
- 堀田家農事試驗場試驗要報 五一—六(三二—三三)號
- 香川縣立農事試驗場試驗成績 一(三二)號
- 神奈川縣農會報 一四四—一七七(三二—三三)號
- 京都府農會報 三四二—三四五(三二)號
- 九州帝國大學農學部學藝雜誌 一—二(三二—三三)卷
- 南滿洲鐵道株式會社產業資料 二〇—二三(三四—三五)
- 盛岡高等農林學校學術報告 四—八(三三—三四)卷
- 日本園藝雜誌 三三—三七(三二—三三)卷
- 日本植物學報 一—二(三二—三三)卷
- 農學會報 三三〇—三七七(三二—三三)號
- 農家の友(岡山縣農會報) 二五九—三三九(三二—三三)號
- 大原農業研究所報告 二(三二—三三)卷
- 大分縣立農事講習所臨時要報 五(三二)號
- 岡山縣農會報(農家の友) 二五九—三三九(三二—三三)號
- 岡山縣立農事試驗場成績 四—一四五(三二—三三)號

- 北海道農事試驗場報告 一一—一六(三二—三三)號
- 北海道帝國大學農學部紀要 九—一五(三二—三三)卷
- 福岡縣內務部病害蟲驅除豫防資料 二(三七—三三)號
- 鹿兒島縣立農事試驗場試驗成績要報 五(三二)號
- 神奈川縣立農事試驗場試驗成績 五(三二—三三)號
- 京都帝國大學理學部紀要 一(三二)卷
- 南滿洲農事試驗場彙報 一一—一四(三二—三三)號
- 盛岡高等農林學校同窓會學術彙報 一(三二—三三)卷
- 長崎縣立農事試驗場臨時報告 二二—二七(三二—三三)號
- 日本植物病理學會報 一卷四—六(三二—三三)號
- 新潟縣立農事試驗場特別報告 一六—二〇(三二—三三)號
- 農學講演集及農學研究 一(三二—三三)卷
- 農事試驗場報告 四五(三二—三三)號
- 大分縣立農事試驗場農事試驗成績 一(三二)號
- 岡山縣內務部產業叢書 五、五—七、五、七—七(三二—三三)
- 岡山縣立農事試驗場臨時報告 二二—二八(三二—三三)號
- 大阪府立農事試驗場報告 一(三二)號

林學會報 一一一六(二二二)一一一六(二二四)號

林業試驗場報告抄錄 二(二二二)編

農業試驗場彙報 一一一八(二二二)二五號

札幌農林學會報 一一一七(二二二)二五號

滋賀縣立農事試驗場成績 二(二二四)

靜岡縣立農事試驗場時報 二(二二四)年

臺灣農事報 一七〇一八(二二二)號、一六一九(二二二)二五號

臺灣總督府中央研究所農業部報告 一一四(二二二)二二二號

栃木縣立農事試驗場特別報告 三三八(二二二)二五號

朝鮮勸業模範場研究報告 五一(二二二)二五號

林業試驗場報告 二二一六(二二二)二五號

林業試驗場彙報 三一一八(二二二)二五號

札幌博物學會報 八(二二二)卷

植物學雜誌 三五—三九(二二二)二五卷

島根縣立農事試驗場臨時要報 二五(二二二)報

臺中州農事試驗場年報 一一一(二二二)四二二五號

臺灣總督府中央研究所農業部彙報 一一二八(二二二)二五號

帝室林野管理局林業試驗報告 一(二二二)報

中央園藝 二一四—二七(二二二)二五號

朝鮮林業試驗場彙報 一一五(二二二)號

農事試驗場業務功程、事業報告、業務年報等

愛知業功 一一一(二二二)二五

秋田業報 九、一一、一(二二二)二四

愛媛業功 七一(二二二)二六

廣島業功 八一(二二二)二六

北海道業概 一〇(二二二)二六

福井成報 九一〇(二二二)二二

福岡業年 九、一一、一(二二二)二五

福島業年 一一一(二二二)二五

兵庫業報 九一(二二二)二五

茨城業功報 九一(二二二)二五

石川業功 一一一(二二二)二四

香川業年 八、九、一一一(二二二)二二

鹿兒島業功 八一(二二二)二五

關東廳事報 一〇(二二二)二四

高知業功 八一(二二二)二五

熊本業功	八、一二、一三一—一四(三一—三)	京都業功	八—一三(二—二五)	三重業報	八—一三(二—二六)
宮城業功	一〇—一四(二—二六)	宮崎業功	九、一一—一三(二—二五)	長野業概	一一—一三(三—一五)
長崎業報	一一—一三(二—二六)	奈良業報	七—一二(二—二五)	新潟事報	九—一三(二—二五)
農林省事功	九—一二(二—二五)	大分業功	九—一〇、一一—一三(三—一五)	岡山業功	九—一三(三—一五)
佐賀業功	一一—一三(二—二五)	埼玉業功	一〇—一三(三—一五)	滋賀業功	九—一三(二—二四)
島根業報	九—一〇、一三(二—二五)	静岡業報	八—九(二—二五)	千葉業報	一一—一三(三—一五)
德島業功	一一—一二(二—二五)	東京業功	一一—一三(二—二五)	鳥取業功	八—一三(二—二六)
富山業功	一三(二—二五)	和歌山成績	一〇—一二(三—一五)	山形業功	一一—一三(二—二五)
山口業年	一三(二—二六)	山梨業報	九—一二(二—二五)		

一、一般植物病理學並に菌學類に關する事項

著者 題 目

出版物名卷號頁

一愛知農試(二四)	植物病害抵抗性概論	安城農報七・一三六—八
二秋山大介(二三)	洋菌栽培に就て	日本園藝三五ノ四・一四—七
三同(二三—四)	シヤビニオンの栽培に就て	日本園藝三五ノ五・一六—二一、三六ノ二・三九—四五
四ト藏梅之丞(二一)	地方農事試驗場に於ける病害試驗に就て(一—四)	病蟲八・三六—四二、九三—九、一五〇—四二〇—二—八
五同(二一)	改訂増補作物病害豫防驅除法	一一三五八、西ヶ原叢書刊行會

- 六 同 (二二) 大正十年の病害界と吾人の希望
- 七 同 (二二一三) 種苗病害論(一一五)
- 八 同 (二四) 大正十二年の病害の概況と吾人の希望
- 九 同 (二五) 苗木取締問題に就きて
- 一〇 江 本 義 數(二三) 水生菌の酵素に就て
- 一一 榎 本 鈴 雄(二五) 環境の影響より起る「ヘルミントスポリウム」胞子の變形に就て
- 一二 後 藤 一 雄(二五) 培養液の緩衝作用とクロカビによる乳酸形成との關係に就て
- 一三 原 攝 祐(二二) 新屬に原因する植物の病害數種
- 一四 同 (二五) 病害管見
- 一五 同 (二五) 實用作物病理學
- 一六 服 部 廣 太 郎(二三) 一二細菌の培養に就て
- 一七 逸 見 武 雄(二二) 二三植物炭疽病菌の病原性に就きて
- 一八 同 (二二) 桃炭疽病菌の子囊時代に關する研究資料
- 一九 同 (二二) 植物炭疽病研究資料(其一一五)
- 二〇 同 (二二) 炭疽病菌に關する知見補遺(獨文)
- 二一 同 (二二) *Pythium de Baryanum* 及び *Oortolaia Vagum* 及び *Garden-Cress* 苗の立枯病の發生と溫度との關係
- 二二 逸見武雄・松浦 勇(二五) 一糸狀菌の形態と稻に對する病原性に就きて
- 本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二一—五)——一、一般病理學
- 病蟲九・四一八
- 病蟲九・四七七八六、五三〇一四四、五九九一六〇五、六六五七七三、一〇・三八一四四
- 病蟲一一・五一八
- 病蟲一二・二五五—五七
- 植雜三七・二三—二八
- 札幌農林一七・三〇—一四、農學會二七六・三八四—六
- 植雜三九・二六四—八三、札幌農林一七・二九八—九、農學會二七六・三八〇—一
- 病蟲八・四九三—一八
- 病蟲一二・二二—三
- 一—五九四養賢堂
- 植雜三七・二〇八—一二
- 札幌農林一三・一七五—八四
- 病蟲八・五七—六五
- 病蟲八・二七三—八、三二七—三三、三七五—八〇、四二九—三六、五三三—八
- 北大農紀九ノ六・三〇五—四六
- Phytopathology* 一五・一七五—八二
- 札幌農林一七・三〇八—一〇

本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二一—五) 一、一般病理學

一〇〇

- | | | | |
|----|---------------|--|--|
| 三三 | 逸見武雄・松浦 勇(二五) | 絲狀菌の形態と稻に關する病原性に就きて | 農學會二七六・三八九—九一 |
| 二四 | 本 間 ヤ ス(一五) | ウドンコ病菌科の分生胞子内に存するフィブロシン
Fibrosin の性質に就て | 札幌農林一七・三〇—二、農學會二七
六・三九七—九 |
| 二五 | 堀 正 太 郎(二一) | 萎縮性の病害研究資料(一) | 病蟲八・一一七—二〇 |
| 二六 | 同 | (一三) 重要作物及農産物の病害損害統計 | 病蟲一〇・四七九—九二 |
| 二七 | 福 士 貞 吉(二五) | 作物病害雜記(一—二) | 病蟲一二・三〇九—二、四二五—八 |
| 二八 | 出 田 新(二三) | 續日本植物病理學上卷 | 一—三九八農華房 |
| 二九 | 同 | (二五) 我國に於ける植物病理學の略史 | 日本植病會報一六・四八一五二 |
| 三〇 | 井 上 頼 數(二五) | 菰の食草「莖白」に就て | 日本園維一一・二一—七 |
| 三一 | 伊 藤 誠 哉(二二) | 日本產のウロミセス菌(英文) | 北大農紀一ノ四・二一—一八七 |
| 三二 | 伊藤誠哉・今井三子(二五) | シヒタケ及びマツタケの學名に就きて | 札幌農林一七・一五五—六二、二七・二 |
| 三三 | 龜 井 專 次(二五) | 根類の針葉に生ずる銹子腔と羊齒類に寄生する銹菌
との關係に就きて | 八三—四、農學會二七六・三七〇—一
札幌農林一七・三二八—九、農學會二七
六・三九六—七 |
| 三四 | 笠 井 幹 夫(二一) | 植物病害の抵抗力に就いて(其五) | 農家の友二五九・一六—九 |
| 三五 | 同 | (一一) 植物病害の抵抗力に就いて | 農學講演集三・一二五—四九 |
| 三六 | 同 | (一二) 和蘭政府の植物病害に關する施設 | 病蟲九・四六五—七 |
| 三七 | 同 | (二四) 視外生物に因る植物の疾病 | 農研六・一〇一—四二 |
| 三八 | 同 | (二五) 同 | 病蟲一二・七一—九、一三三—九 |
| 三九 | 川 村 幹 雄(二二) | 溫床作物病害(其一) | 日本園維三四ノ二・七一—二 |

- 四〇 川 上 孝 一 郎 (一一) 煙草立枯病、茄子青枯病及胡麻立枯病菌の比較殊に牛乳培養基に對する差異に就て
- 四一 北 島 君 三 (一二) 大正十二年九月東京大火災の直後發生せる橙黃色菌の形態及分類上の位置
- 四二 同 (一五) 千九百二十三年九月一日東京大火災の直後被害樹に大發生せる橙黃色菌に就て
- 四三 胡 昌 熾 (一五) 中華にある二三の美味なる食用菌
- 四四 羅 宗 洛・中山俊郎 (一五) *Aspergillus* 屬菌數種の發育と培養液の緩衝能との關係に就て
- 四五 松 本 幾 (一二) *Rhizoctonia* 研究中觀察せられたる二三の事項に就て
- 四六 同 (一二) 植物病理學研究 (一一)
- 四七 同 (一二) *Rhizoctonia Solani Kuhn* の生理に關する研究續報 (英文)
- 四八 同 (一四) *Rhizoctonia Solani Kuhn* の酵素活力に關する追加報告 (英文)
- 四九 同 (一四) 本果及櫻桃よりの系統を特に考察せる炭疽病菌の生理的研究 (英文)
- 五〇 同 (一五) 年頭の所感
- 五一 三 村 鐘 三 郎 (一二) 林木と菌根との關係 (第一回報告)
- 五二 官部金吾・富樫浩吾 (一四) 滑菌科の二新種 (英文)
- 五三 三 宅 市 郎 (一五) 定溫器に就て
- 五四 三宅市郎・關本清太郎 (一一) 昆蟲類に寄生する黴菌屬の一種に就て
- 五五 同 (一二) 蠶の寄生菌に就て
- 五六 内 藤 獎 (一五) ムツシユルムの栽培に就て

本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄 (一九二一—五) 一、一般病理學

- 植物病理論文集一五七—七四 (一一—八三)
- 林學會二・二八五—九一
- 日本植病會報一ノ六・二五—九
- 日本園維五・二—二
- 札幌農林一七・二九—三〇、農學會二七六・三八—二五
- 病蟲八三八—一四
- 病蟲八・四四—一五、四八三—六、五九六—一〇二
- 盛岡學術報告五・一—六三
- 盛岡學術報告八・一—二三
- 盛岡學術報告八・一五—五〇
- 病蟲一二・三一—六
- 林試報告一五・二二六—八 (抄録二編)
- 札幌博物九ノ一・七一—五
- 病蟲一二・八〇
- 病蟲八・四三六—四一、四八七—九〇
- 病蟲九・四一五—二〇
- 日本園維一二・一七—二一

五七 中 田 覺 五 郎(二三) 歐米に於ける植物病理學界

日本植病會報一ノ五・四五—五三

五八 同 (二五) 和蘭主催の國際植物病理及昆蟲學會

病蟲一〇・三一—四一六

五九 同 (二五) 菌核菌一名白絹病菌 (*Sclerotinia Bolfsii* Sacc.) に就て(第一報)嫌觸現象と種類との關係

九大學藝一・一七七—九〇

六〇 同 (二五) 同上(第二報)嫌觸現象の形態的觀察並に其原因

九大學藝一・三二〇—八

六一 中 島 道 郎(二四) 椎茸栽培に就て

農家の友二三ノ三三二・一七—二二、
三一・九・三—一七

六二 西 田 藤 次(二二) 關西病害蟲研究會

病蟲八・二—三

六三 西 門 義 一(一一) 種物の病害に就き(一—三)

病蟲八・二九—二九、三三—七四三、
四四五—五二

六四 同 (二二—三) 植物病原菌の寄主體侵害法

農家の友二七九・一五—二〇、二八〇・
二九—三四、二八二・一—一八、二八二・
一二—一五、二八三・二九—三三、二八四・
二八—三二

六五 同 (二三) 植物病原菌の寄主體侵害法

農學講演集五・八四—一二三

六六 同 (二五) アゼガヤに寄生する一新「ヘルミントスポリウム」菌の形態並に生理に就て

盛岡同憲學彙二・一一—一六

六七 西門義一・三宅忠一(二四) 稗に寄生する一新「ヘルミントスポリウム」菌に就きて(一—二)

病蟲一一・二八—二五、七九—八四

六八 同 (二四) アゼガヤに寄生する一新「ヘルミントスポリウム」菌の形態並に生理的研究(英文)

大原農研報告二・四七三—一九〇

六九 同 (二五) 稗に寄生する一新「ヘルミントスポリウム」菌に就きて(獨文)

大原農研報告二・五九七—六二二

七〇 西 村 眞 琴(二二) *Plasmopara Halstedii* に關する研究(英文)

北大農紀一一ノ三・一八五—二一〇

七一 農 務 局(二四) 農作物病蟲害驅除豫防事務要覽

病蟲彙報一二

七二 野 島 友 雄(二五) 定溫室の裝置に就きて

病蟲一二・四三三—一七

- 七三 織田 富士 夫(二三) 福岡縣下に於ける主要病害蟲の被害に就て
- 七四 大 島 幸 吉(二三) 麴菌の澱粉糖化酵素及蛋白分解酵素の定量的測定法
- 七五 同 (二四) 麴菌の澱粉糖化酵素及蛋白分解酵素生成能に對する培養基の反應と多種類麴菌酵素生成能比較
- 七六 同 (二四) 納豆菌の酵素化學的研究(第一報)納豆蛋白質分解酵素の性質(其一)
- 七七 大島幸吉・星 秋(二四) アスベルギルス、オクラセウスの蛋白質分解酵素に關する研究
- 七八 齋 藤 賢 道(二三) 大氣中の菌芽に關する研究(獨文)
- 七九 同 (二三) 醱母菌の二新種(附)トルラスボラ、テルブリユツキの胞子形成に就て(獨文)
- 八〇 坂 村 徹(二五) 特に營養液の緩衝能を考察したるクロカビの培養に就て
- 八一 同 (二四) *Aspergillus niger* の發育と培養液の緩衝能との關係に就て(獨文)
- 八二 澤 田 兼 吉(二三) 臺灣產菌類調查報告第二編
- 八三 島 根 農 試(二三) 種苗の病害蟲
- 八四 末 松 直 次(二二) 耐病性品種の問題に就きて
- 八五 同 (二二) 植物病理學の歴史(一一二)
- 八六 同 (二五) 應用植物學各論上卷
- 八七 住 江 金 之(二四) サツカロミセスの胞子が發芽に際して呈する接合現象に就て
- 八八 同 (二四) サツカロミセスの胞子發芽に關する知見
- 八九 鈴 木 直 吉(二三) 黃海道安岳鑛業所附近鑛毒被害水田調査
- 本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二一—五)一、一般病理學
- 病蟲一〇・二六一三三
- 札幌農林一四・三七三—九二
- 札幌農林一五・二三五—八二
- 札幌農林一六・三八七—四〇五
- 札幌農林一六・四八三—五〇〇
- 日本植物輯報一・一一五—四
- 植維三七・六三—六六
- 札幌農林一七・二九六—七、農學會報二七六・三七九—八〇
- 北大農紀一四・二・六五—一二八
- 臺灣中研農彙二・一一—七三
- 臨時要報二五・一一—五四
- 日本植病會報一ノ四・五三—六
- 病蟲八・二五—二〇、六五—七一
- 一一二九四養賢堂
- 農學會二六一・四九—一九
- 農學會二六四・六八—二七五、大日本農會五二七・一三—二四
- 朝鮮勸模研報八・一一—二〇

- | | | | | |
|-----|-----------|-------|------------------------------------|---|
| 九〇 | 高 龜 祐 | (三二四) | 野生草サブラフエスセスに就て | 日本園雜三七ノ一二・二七二〇 |
| 九一 | 同 | (二五) | 會津地方に於けるシメジ草山の觀察 | 日本園雜三七ノ一二・二七二一 |
| 九二 | 同 | (二五) | 春の草アミガサ茸及キクラゲ | 日本園雜三七ノ四・六九 |
| 九三 | 瀧 元 清 | (二三) | 疫病菌の傳播の經過並に土壤中に於ける死物寄生的としての生活に就て | 病蟲一〇・二四一—四七 |
| 九四 | 富 樫 浩 吾 | (二三) | Valsa 菌三種に於ける二三培養上の比較 | 札幌農林一五・二九—三八 |
| 九五 | 同 | (二四) | 北海道利尻及禮文島に於て採集せる菌(英文) | 日本植物輯報二・七五—一二一 |
| 九六 | 富樫浩吾・平塚直秀 | (二四) | ノシャツ半島に於ける植物寄生菌類 | 札幌農林一六・七三—八一 |
| 九七 | 徳川義親・江本義敏 | (二三) | 大火災後發生せるある線狀菌に就て(豫報) | 植雜三七・一八五—九三 |
| 九八 | 同 | (二四) | 最近の火災直後に突然發生せる糸狀菌に就て(獨文) | 日本植物輯報二・一七五—一八八 |
| 九九 | 栃 内 吉 彦 | (二一) | 亞麻の立枯病菌の生理に關する研究(英文) | 札幌博物八ノ一—二・二九—四四 |
| 一〇〇 | 山 田 濟 | (二四) | 新病害二種 | 病蟲一一・六六—九七 |
| 一〇一 | 同 | (二四) | 細菌の分類法式の一定を望む | 病蟲一一・三三〇—一 |
| 一〇二 | 山 本 義 彦 | (二五) | 培養温度に依る Aspergillus niger の一代變異に就て | 札幌農林一七ノ七四・一六三—九八 |
| 一〇三 | 保 虎 太 郎 | (二五) | 菌類の胞子發芽の刺戟物質に就て | 病蟲一二・三八—一九四 |
| 一〇四 | 安 田 篤 | (二一) | 菌類雜記(一〇六—一二七) | 植雜二二・二四—二五・二六—二七・二八—二九・三〇—三一・三二—三三・三四—三五・三六—三七・三八—三九・四〇—四一—四二—四三—四四—四五—四六—四七—四八—四九—五〇—五一—五二—五三—五四—五五—五六—五七—五八—五九—六〇—六一—六二—六三—六四—六五—六六—六七—六八—六九—七〇—七一—七二—七三—七四—七五—七六—七七—七八—七九—八〇—八一—八二—八三—八四—八五—八六—八七—八八—八九—九〇—九一—九二—九三—九四—九五—九六—九七—九八—九九—一〇〇—一〇一—一〇二—一〇三—一〇四—一〇五—一〇六—一〇七—一〇八—一〇九—一一〇—一一一—一一二—一一三—一一四—一一五—一一六—一一七—一一八—一一九—一二〇—一二一—一二二—一二三—一二四—一二五—一二六—一二七—一二八—一二九—一三〇—一三一—一三二—一三三—一三四—一三五—一三六—一三七—一三八—一三九—一四〇—一四一—一四二—一四三—一四四—一四五—一四六—一四七—一四八—一四九—一五〇—一五一—一五二—一五三—一五四—一五五—一五六—一五七—一五八—一五九—一六〇—一六一—一六二—一六三—一六四—一六五—一六六—一六七—一六八—一六九—一七〇—一七一—一七二—一七三—一七四—一七五—一七六—一七七—一七八—一七九—一八〇—一八一—一八二—一八三—一八四—一八五—一八六—一八七—一八八—一八九—一九〇—一九一—一九二—一九三—一九四—一九五—一九六—一九七—一九八—一九九—二〇〇—二〇一—二〇二—二〇三—二〇四—二〇五—二〇六—二〇七—二〇八—二〇九—二一〇—二一一—二一二—二一三—二一四—二一五—二一六—二一七—二一八—二一九—二二〇—二二一—二二二—二二三—二二四—二二五—二二六—二二七—二二八—二二九—二三〇—二三一—二三二—二三三—二三四—二三五—二三六—二三七—二三八—二三九—二四〇—二四一—二四二—二四三—二四四—二四五—二四六—二四七—二四八—二四九—二五〇—二五一—二五二—二五三—二五四—二五五—二五六—二五七—二五八—二五九—二六〇—二六一—二六二—二六三—二六四—二六五—二六六—二六七—二六八—二六九—二七〇—二七一—二七二—二七三—二七四—二七五—二七六—二七七—二七八—二七九—二八〇—二八一—二八二—二八三—二八四—二八五—二八六—二八七—二八八—二八九—二九〇—二九一—二九二—二九三—二九四—二九五—二九六—二九七—二九八—二九九—三〇〇—三〇一—三〇二—三〇三—三〇四—三〇五—三〇六—三〇七—三〇八—三〇九—三一〇—三一—三一—三一二—三一三—三一四—三一五—三一六—三一七—三一八—三一九—三二〇—三二一—三二二—三二三—三二四—三二五—三二六—三二七—三二八—三二九—三三〇—三三一—三三二—三三三—三三四—三三五—三三六—三三七—三三八—三三九—三四〇—三四一—三四二—三四三—三四四—三四五—三四六—三四七—三四八—三四九—三五〇—三五—三五—三六—三六—三七—三七—三八—三八—三九—三九—四〇—四〇—四一—四一—四二—四二—四三—四三—四四—四四—四五—四五—四六—四六—四七—四七—四八—四八—四九—四九—五〇—五〇—五一—五一—五二—五二—五三—五三—五四—五四—五五—五五—五六—五六—五七—五七—五八—五八—五九—五九—六〇—六〇—六一—六一—六二—六二—六三—六三—六四—六四—六五—六五—六六—六六—六七—六七—六八—六八—六九—六九—七〇—七〇—七一—七一—七二—七二—七三—七三—七四—七四—七五—七五—七六—七六—七七—七七—七八—七八—七九—七九—八〇—八〇—八一—八一—八二—八二—八三—八三—八四—八四—八五—八五—八六—八六—八七—八七—八八—八八—八九—八九—九〇—九〇—九一—九一—九二—九二—九三—九三—九四—九四—九五—九五—九六—九六—九七—九七—九八—九八—九九—九九—一〇〇—一〇〇—一〇一—一〇一—一〇二—一〇二—一〇三—一〇三—一〇四—一〇四—一〇五—一〇五—一〇六—一〇六—一〇七—一〇七—一〇八—一〇八—一〇九—一〇九—一一〇—一一〇—一一一—一一一—一二二—一二二—一二三—一二三—一二四—一二四—一二五—一二五—一二六—一二六—一二七—一二七—一二八—一二八—一二九—一二九—一三〇—一三〇—一三一—一三一—一三二—一三二—一三三—一三三—一三四—一三四—一三五—一三五—一三六—一三六—一三七—一三七—一三八—一三八—一三九—一三九—一四〇—一四〇—一四一—一四一—一四二—一四二—一四三—一四三—一四四—一四四—一四五—一四五—一四六—一四六—一四七—一四七—一四八—一四八—一四九—一四九—一五〇—一五〇—一五一—一五一—一五二—一五二—一五三—一五三—一五四—一五四—一五五—一五五—一五六—一五六—一五七—一五七—一五八—一五八—一五九—一五九—一六〇—一六〇—一六一—一六一—一六二—一六二—一六三—一六三—一六四—一六四—一六五—一六五—一六六—一六六—一六七—一六七—一六八—一六八—一六九—一六九—一七〇—一七〇—一七一—一七一—一七二—一七二—一七三—一七三—一七四—一七四—一七五—一七五—一七六—一七六—一七七—一七七—一七八—一七八—一七九—一七九—一八〇—一八〇—一八一—一八一—一八二—一八二—一八三—一八三—一八四—一八四—一八五—一八五—一八六—一八六—一八七—一八七—一八八—一八八—一八九—一八九—一九〇—一九〇—一九一—一九一—一九二—一九二—一九三—一九三—一九四—一九四—一九五—一九五—一九六—一九六—一九七—一九七—一九八—一九八—一九九—一九九—二〇〇—二〇〇—二〇一—二〇一—二〇二—二〇二—二〇三—二〇三—二〇四—二〇四—二〇五—二〇五—二〇六—二〇六—二〇七—二〇七—二〇八—二〇八—二〇九—二〇九—二一〇—二一〇—二一一—二一一—二一二—二一二—二一三—二一三—二一四—二一四—二一五—二一五—二一六—二一六—二一七—二一七—二一八—二一八—二一九—二一九—二二〇—二二〇—二二一—二二一—二二二—二二二—二二三—二二三—二二四—二二四—二二五—二二五—二二六—二二六—二二七—二二七—二二八—二二八—二二九—二二九—二三〇—二三〇—二三一—二三一—二三二—二三二—二三三—二三三—二三四—二三四—二三五—二三五—二三六—二三六—二三七—二三七—二三八—二三八—二三九—二三九—二四〇—二四〇—二四一—二四一—二四二—二四二—二四三—二四三—二四四—二四四—二四五—二四五—二四六—二四六—二四七—二四七—二四八—二四八—二四九—二四九—二五〇—二五〇—二五一—二五一—二五二—二五二—二五三—二五三—二五四—二五四—二五五—二五五—二五六—二五六—二五七—二五七—二五八—二五八—二五九—二五九—二六〇—二六〇—二六一—二六一—二六二—二六二—二六三—二六三—二六四—二六四—二六五—二六五—二六六—二六六—二六七—二六七—二六八—二六八—二六九—二六九—二七〇—二七〇—二七一—二七一—二七二—二七二—二七三—二七三—二七四—二七四—二七五—二七五—二七六—二七六—二七七—二七七—二七八—二七八—二七九—二七九—二八〇—二八〇—二八一—二八一—二八二—二八二—二八三—二八三—二八四—二八四—二八五—二八五—二八六—二八六—二八七—二八七—二八八—二八八—二八九—二八九—二九〇—二九〇—二九一—二九一—二九二—二九二—二九三—二九三—二九四—二九四—二九五—二九五—二九六—二九六—二九七—二九七—二九八—二九八—二九九—二九九—三〇〇—三〇〇—三〇 |

- 一〇六 同 (一二三) 同 (一二三〇—一四一) 植維三七・三四一五、六六一八、一〇一三、一八二〇、一三七八、一五五、一六二〇〇一八
- 一〇七 同 (一二四) 同 (一二四一一—一四七) 植維三八・二〇〇一三、四六一八、七五九、九五—六、一二一三、一四五—九
- 一〇八 同 (一二三) ウロタケ屬 (*Stereum*) 及タバコタケ屬 (*Hymenochaeta*) の新種(獨文) 植維三七・六〇—一
- 一〇九 同 (一二三) クロコブタケ屬 (*Hypoxylon*) の一新種(獨文) 植維三七・六七—八
- 一一〇 同 (一二三) ホクロタケ屬 (*Trametes*) の二新種(獨文) 植維三七・八三—五
- 一一一 同 (一二三) 基菌類の四新種(獨文) 植維三七・一二五—三〇
- 一二二 米 丸 忠 太 郎(一二二) 植物煙害の原因 大日本農會四九四・四二
- 一二三 吉 田 末 彦(一二三) 主なる病害の原産地と其の傳播蔓延に就つ(一二二) 病蟲一〇・三三—三八、八四—八六

(農事試驗場業務功程、事業報告等)

- 一一四 農試(農商務省)事功 萎黃性の病害に關する研究(大正九年度) 菌核の發芽と低温度の刺戟との關係試驗(一〇〇) 根頭癌腫病の研究(一一) 粗製護謄の汚斑に關する研究(一〇〇)
- 一一五 富山事功 菌核病に對する藥劑撒布試驗(一二三) 菌核の生活力に關する試驗(一二三)

二、殺菌劑消毒劑等防除法に關する事項

- 一一六 愛 知 農 試(一二五) 苗木病蟲害驅除法 安城農報一二三・一五—二
- 本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二—一五) 二、防除法 一〇五

本邦に於ける植物病害に関する文獻目錄(一九二二—一九二五)二、防除法

一〇六

一一七 愛 知 農 試(二四) 麥の病害豫防と種子の消毒法

安城農報一・二二二—三

一一八 同 (二五) 麥種子消毒法としての改良硫酸銅液浸法

安城農報二・二五六—七

一一九 秋 山 忠 次 郎(二二) クロロピクリンの植物に及ぼす作用

病蟲九・二五一六

一二〇 ト 藏 梅 之 丞(二一) 改訂増補作物病害豫防驅除法

一一八二〇西ヶ原叢書刊行會

一二一 原 攝 祐(二五) 實用作物病理學

一一五九四養賢堂

一二二 北 海 道 農 試(二一) 本道重要病害防除試驗及調査

報告一一ノ二、二九—五九

一二三 堀 正 太 郎(二一) 理想的殺菌劑銅石鹼液に就て

大日本農會四四七七・一〇—四

一二四 同 (二一) 銅石鹼液の調劑法

日本植病會報一ノ四・四三—五二

一二五 同 (二二) 冷水を以てする銅石鹼液の調製法(第一報)

大日本農會四九八、一〇
病蟲九・二五九—六三、三七—三三、二九—八四

一二六 同 (二二) 銅石鹼液の効驗

病蟲三九・七七—三三、三〇・三二—六、五二—三八、
三三・三三—一七

一二七 同 (二二) 銅石鹼液の効驗

大日本農會四九四・一三、四九六・八、四
九七・二

一二八 同 (二二) 殺菌劑として醋酸銅の應用

大日本農會五〇八・七一〇

一二九 福 岡 縣 内 務 部(二一) 大正九年度病蟲害豫防事業成績

病蟲害驅除豫防資料二號

一三〇 同 (二二) 大正一〇年度病蟲害豫防事業成績

病蟲害驅除豫防資料三號

一三一 同 (二二) 病蟲害驅除豫防に關する調査並に研究成績

病蟲害驅除豫防資料一〇・一一—一八三

一三二 同 (二五) 園藝主要病蟲害防除一覽

病蟲害驅除豫防資料三八號

一三三 飯 田 秋 露(二五) 作物病害の一般的驅除豫防法

日本園藝三三ノ三・一五—六

- 一三四 錦 方 末 彦(二二) ビツカリング液(一名石灰水ボルドウ)に就て
 一三五 錦方末彦・人見 隆(二五) 冷水銅石鹼液と溫湯銅石鹼液との効力に就て
 一三六 石 川 瀧 太 郎(二二) 病蟲害防止問題に對する希望
 一三七 同 (二二) 石灰硫黃合劑の土壤消毒力に就て
 一三八 石川瀧太郎・埴崎 勇(二二) 石灰硫黃合劑土壤消毒と茄子
 一三九 一・色 閑 月(二五) 梨病害防除要覽
 一四〇 柿 崎 洋 一(二四) 種子處理劑ウスブルンの價值
 一四一 北 島 君 三(二二) 涙菌に對するクレオソート油の防腐効力に就て
 一四二 同 (二二) 銅石鹼問題に就て
 一四三 金 野 敬 三(二五) クロールピクリンの土壤消毒效果に就て
 一四四 空 閑 知 鷲 治(二五) 農村振興の化學的實現策ウスブルンに就て(上中下)
 一四五 *Loew, Oscar* (二二) 土壤消毒劑としての漂白粉(英文)
 一四六 前田 將・武田禮治(二二) 銅石鹼液に就て
 一四七 三 木 泰 治(二二) 銅石鹼液に關する研究
 一四八 同 (二四) 殺菌劑の比較
 一四九 同 (二四) 柑橘貯藏庫の一齊消毒に就て
 一五〇 三木泰治・園田晋次郎(二二) 冷水を以てする銅石鹼液の調製法(第一報)
 本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二一—五)——二、防除法
- 農家の友二八・一八—九
 病蟲一二・二〇九—一五
 病蟲八・三一—六
 病蟲八・五〇—六九
 病蟲九・二九—三四、三三九—四四
 中央園藝二六・四〇—五
 大日本農會五二四・二—五
 林學會雜誌一五・二九—二八
 病蟲一〇・三六—二九
 病蟲一二・四〇—三
 農家の友一四ノ三三三・一八—二〇、三
 二四・一九—二〇、二五・一二—三
 農學會二五・六〇—九六
 日本園藝三三ノ八・一—五
 大阪農試報告一・二—一四八
 大日本農會五二四・三五—九
 日本園藝三六ノ一・二—一七
 病蟲九・四〇—一五

本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二一—五)二、防除法

一〇八

- 一五一 三木泰治・園田晋次郎(二三) 殺菌劑としての銅石鹼液と石灰ボルドウ液
- 一五二 同 (三四) 銅石鹼液と石灰ボルドウ液の比較に就て
- 一五三 宮 川 巖(二四) 石灰ボルドー液調製に就て
- 一五四 三 宅 市 郎(二四) 紋羽病驅除豫防法に就て
- 一五五 宮 澤 春 水(二四) 病蟲害防除劑と「カゼイン」石灰の加用
- 一五六 村 田 壽 太 郎(二二) 殺菌驅蟲劑の製法(四—七)
- 一五七 同 (二三) 同 (八一—二)
- 一五八 同 (二五) 殺菌驅蟲劑の製法(二—二三)
- 一五九 同 (二三) 勞力經濟殺菌劑と驅蟲劑との混用
- 一六〇 同 (二五) 藥劑の溶解並に稀釋に關する注意
- 一六一 村田壽太郎・池田武雄(二二) 蚜蟲驅除に當り殺菌劑と驅蟲劑(接觸劑)混用如何
- 一六二 同 (二四) 驅除劑に關する試験並に調査成績
- 一六三 長 野 農 試(二二) 銅石鹼液(一名銅乳劑)
- 一六四 中 谷 長 次 郎(二三) 銅石鹼合劑
- 一六五 新 潟 農 試(二四) 銅石鹼液撒布試験
- 一六六 二 木 (二四) 安行苗木の病蟲害検査實施
- 一六七 二 宮 元 孝(二五) 果樹苗木病菌害蟲の検査取締に就て
- 日本園維三五ノ一二・一三—二〇
- 大日本農會五一五・四三—五〇
- 中央園藝二五九・三〇—四
- 露試彙報二三・一三—二六
- 日本園維三六ノ一・五一—四
- 果樹二一六・一五—七、二八・二八—三
- 〇・二二—二四・六、二三・二六—八
- 果樹二二九・二四—六、二三・二九—三
- 三一・三三・二四—六、二三・二九—三
- 中央園藝二四六・二八—三二、二四九・三六—四〇
- 病蟲一〇・四八—八
- 中央園藝二七一・六七—七〇
- 病蟲九・六五〇—六二
- 中央園藝二六〇・二九—三一
- 果樹二二八・二〇—三
- 病蟲一〇・四四—二五
- 特別報告一九・二七—三一
- 日本園維三六ノ一二・一八—九
- 盛岡同憲學彙二・七五—一〇九

- 一六八 西 田 藤 次(二二) 殺菌殺蟲劑一束
- 一六九 同 (二二) 脂油乳劑加石灰ボルドー液
- 一七〇 同 (二四) 撒注の仕方
- 一七一 同 (二四) 藥劑撒布の能率
- 一七二 同 (二五) 病害防除の所感
- 一七三 西 門 義 一(二二) 麥類の種子消毒一新法
- 一七四 同 (二五) 殺菌劑の効力試驗の方法に就きて
- 一七五 丹 羽 鼎 三(二二) 銅石鹼液調製の實驗
- 一七六 同 (二二) 再び銅石鹼液の調製法に就て
- 一七七 同 (二二) 三度 同
- 一七八 農 務 局(二五) 麥類黑穗病豫防風呂湯浸法
- 一七九 農商務省農試(二二) ボルドウ液
- 一八〇 同 (二二) 重要殺菌劑
- 一八一 同 (二二) 同 (一七) 同
- 一八二 野 津 大 兵 衛(二五) 殺菌劑と殺蟲劑との混用を奨む(一七)
- 一八三 大河原邦三郎(二二) 銅石鹼液調製上及使用上感じたる事に就て
- 一八四 岡山縣内務部(二二) 大正九年病蟲害驅除豫防成績
- 果樹二二七・二〇一・二二
- 果樹二三〇・一一四
- 中央園藝二五五・三三八
- 中央園藝二五八・三一六
- 同 二六七・四一七
- 農家の友二五九・二九一・三〇〇
- 病蟲一二・二五・一七
- 日本園維三三〇・二二七・八
- 同 三三〇・七一・一一二
- 同 三三〇・二〇・二〇・一一
- 病蟲害驅除豫防資料六
- 日本園維三三〇・五・一一五
- 大日本農會四八一・二八一・二五
- 果樹二二八・二三・三七・二九・二五・七
- 病蟲一二・一四〇・一六・一九九・二〇・三
- 病蟲八・四六・二
- 産業叢書五一・一一・三二

本邦に於ける植物病害に関する文献目録(一九二二・五) 二、防除法

一一〇

一八五 櫻 井 基(一二) 銅石鹼液の露に及ぼす影響に就て

病蟲 一〇・四七七―八二

一八六 櫻井 基・川中忠次(二五) 同

同 一二・五四七―一五三

一八七 島 田 五 郎(二二) 銅石鹼液調製法と其効果

日本園藝三三ノ六・四一八

一八八 同 (二二) 再び銅石鹼液の調製法に就て

日本園藝三三ノ九・六一五

一八九 白 井 光 太 郎(二二) 植物病害防除法

學藝三九ノ四八八・九六一九、三九ノ四八九・九三

一九〇 同 (二二) 植物病害防除法

同 四〇ノ五〇一・四五―七

一九一 園 田 晋 次 郎(二二) 銅石鹼液の化學的研究(一―三)

病蟲九・二二九―三九、三〇三―九、三六五―七七

一九二 園田晋次郎・三木泰治(二二) 冷水を以てする銅石鹼液の調製法(第一報)

日本園藝三四ノ八・一一―二

一九三 同 (二二) 同

果樹二二三・三四―四〇、二三四・二八一―二

一九四 近 森 善 一(二二) 粉狀銅石鹼に就いて

病蟲一〇・四九七―九

一九五 内 田 溪 月(二五) 農用藥劑研究の必要

中央園藝二六八・三二―六

一九六 内田郁太・野口徳三(二五) 農用藥劑學

一一二五〇明文堂

一九七 渡邊恒男・飯田 昂(二二) 銅石鹼液の新調製法を紹介す

病蟲八・三五三―四

一九八 同 (二二) 同

日本園藝三三ノ七・三一―二

一九九 同 (二二) 同

果樹二二〇・一九―二〇

二〇〇 同 (二二) クロールピクリン(コクゾール)に関する第一回試驗報告

果樹二二七・三一―五

二〇一 山 田 濟(二五) 殺菌劑としての炭酸銅に就いて

病蟲一二・五〇九―一二

三〇二 吉田末彦・小山義孝(一一) 石鹼液及硫酸銅液の濃度が銅石鹼液の調製上に及ぼす影響に就て(其一)

病蟲八・三〇〇—二

(農事試驗場業務功程、事業報告等)

二〇三 愛知業功 種子處理藥劑に關する試驗(大正一三年度)

二〇四 秋田業功 種子消毒劑使用試驗(一三)

二〇五 廣島業功 毒劑撒布と收量との關係試驗(九)

土壤消毒試驗(一一)

二〇六 福岡業年 銅石鹼液調合量決定試驗(九)

二〇七 兵庫業功 石灰硫黃合劑稀釋液藥害試驗(一四)

各種殺蟲殺菌劑の試驗(一一)

二〇八 石川業功 石油乳劑効力試驗(一一)

二〇九 岩手業功 濃厚石灰硫黃合劑調製配布(一三)

二一一 鹿兒島業功 銅石鹼液に關する調査(一〇、一一、一二)

二一〇 熊本業功 種子浸漬劑効力試驗(一四)

二一二 京都業功 殺蟲殺菌劑と茶の香味との關係試驗(九)

二一三 長野業功 銅石鹼液調製試驗(一一)

二一四 長崎業報 販賣殺蟲殺菌劑効力試驗(一二、一三、一四)

銅石鹼液と石灰ボルドウ液の効力比較試驗(一一、一二)

業功、農用藥品效果試驗(一二)

販賣殺蟲殺菌劑の効力試驗(一〇、一一、一二)

種子消毒劑影響試驗(一四)

殺菌劑と驅蟲劑(接觸劑)の混用試驗(一二)

本邦に於ける植物病害に關する文獻目録(一九二一—五) 一、防除法

二二五 奈良業功 殺菌劑と殺蟲劑の混合撒布に關する試驗(一二)

二二六 新潟事報 石灰硫黃合劑土壤消毒法試驗(一一—一二)

藥劑に關する試驗(九、一三)

銅石鹼液效果試驗(一二)

晒粉土壤消毒試驗(一三)

銅石鹼液撒布試驗(一〇、一二)

二二七 農試(農商務省)事功 銅石鹼液に關する研究(九)

銅石鹼液の濃度と藥害との關係試驗(一二)

藥劑撒布が植物體に及ぼす影響調査(一二)

ウスブルンの効力試驗(一二)

土壤傳染に依る植物細菌病の研究(一二)

二二八 岡山業功 銅石鹼液の効果に關する試驗(一〇—一二)

オレイン酸銅石鹼液とステアリン酸銅石鹼液との效果優劣査定試驗(一三)

販賣種子消毒劑効力試驗(一三)

二二九 滋賀業功

水田苗の藥劑被害試驗(九)

冷水溫湯浸法試驗(九—一〇)

銅劑藥害試驗(一二)

病田矯正及豫防試驗(九)

種子處理劑の菌類の生育に及ぼす影響に關する試驗(一二)

種子消毒劑の植生に及ぼす影響に關する試驗(一三)

病蟲害驅除豫防狀況調査(一二)

銅劑效果比較試驗(一三)

二一〇 島根業功

銅石鹼液對石灰ボルドー液効力比較試驗(一〇)

二一一 千葉業功

殺菌又は驅蟲劑調製に使用する石鹼に關する調査(一二)

二一二 徳島業功

石灰ボルドー液の取扱ひに關する試驗(一二)

銅石鹼液に關する試驗(一二)

二一三 栃木業功

各種植物葉に對する殺菌劑及殺蟲劑の填延粘着力程度に關する試驗(第一報)(一三)

二二四 山口業年 銅石鹼液對石灰ボルドー液比較試驗(一二)

二二五 山梨業報 石灰ボルドー液の調製と病害との關係試驗(九)

銅石鹼液の効力試驗(九)

銅石鹼液と石灰ボルドー液との効力比較試驗(一〇) 販賣殺蟲殺菌劑効力試驗(一二—一三)

三、普通作物の病害に關する事項 (主として禾本科作物にして牧草類をも含む)

二二六 安孫子孝次(二五) 赤銹病抵抗性小麥品種の育成に就て

二二七 安達益之助(二四) 大麥の腥黑穗病に就て

二二八 愛知農試(二四) 麥の病害豫防と種子の消毒法

二二九 同 (二五) 麥種子消毒法としての改良硫酸銅液浸法

二三〇 同 (二五) 麥立枯病豫防

二三一 葵見丸(二二) 赤雙米の病原に關する研究

二三二 ト藏梅之丞(二二) 改訂増補作物病害豫防驅除法

二三三 同 (二二) 麥類の黑穗病及斑葉病豫防としての風呂湯浸法に關する調査

二三四 同 (二四) 稻熱病に關する調査(一一三)

二三五 同 (二四) 早害地に於ける稻作の減收は早害のみにあらずして病菌の被害甚大なり

二三六 同 (二五) 稻熱病豫防上耐病性品種選擇上の注意併せて掛札光徳氏の質疑に答ふ

二三七 後藤一雄(二五) 小麥及びライ麥の赤銹菌の夏胞子の發芽と水素イオン濃度との關係に就て

本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二—一五)—三、普通作物

札幌農林一七三二—一八、農學會二七六・三九—六

病蟲一一・二七五—八〇

安城農報一一・二二—三

同 二三・二五六—七

同 一四・三九—四一

農試報告四五ノ一、二九十六九

一一八二〇西ヶ原叢書刊行會

病蟲一一・三八八—九二

同 一一・一二八—三三、一九三一—二〇四、二四—五八

同 一一・六二—三

同 一二・二五七—八

札幌農林一七・二八九—九〇、農學會二七六・三七—四一五

二三八 原 攝 祐(二五) 實用作物病理學

二三九 逸 見 武 雄(二五) 植物の不定性病害に就て

二四〇 逸見武雄・松浦 勇(二五) 一絲狀菌の形態と稻に對する病原性に就きて

二四一 同 (二五) 絲狀菌の形態と稻に關する病原性に就きて

二四二 北海道 農 試(二二) 黑穗病に關する試験

二四三 同 (二二) 大麥斑葉病豫防試験

二四四 同 (二二) 水田雜草マツバ並にアオミドロ類の防除に關する調査及試験成績

二四五 同 (二三) 大麥及裸麥(病害)

二四六 同 (二四) 水稻(病害)

二四七 堀 正 太 郎(二二) 稻赤枯病

二四八 福 岡 内 務 郎(二五) 稻白葉枯病豫防の栗

二四九 同 (二五) 稻イモチ病豫防の栗

二五〇 出 田 新(二三) 續日本植物病理學上卷

二五一 鐮 方 末 彦(二三) 麥種子消毒法に關する試験成績(第一報硫酸銅浸法)

二五二 同 (二五) 同 (第二報風呂湯浸法)

二五三 同 (二五) 麥類の黑穗病及斑葉病の簡易なる豫防法を紹介す(一一一)

二五四 井 上 富 次(二二) 稻作の愚見(稻熱病・白葉枯病)

一一五九四養賢堂

大日本農會五三九・七一六、札幌農林
一七二八〇一二、農學會二七六・三八
七九

札幌農林一七・三〇八一〇

農學會三七六・三八六—九一

北海農試報告一・二九—三八

同 一・三八—四一

同 一一〇一・一一—二八

北海農試彙報二八・五七—六二

同 三〇・七三—六

大日本農會四八七・四七—五七

病蟲害驅除豫防資料一・二—一九

同 一二・一一—四

一一三九八養華房

岡山農試成績四二報—一九〇

同 四五報—七八

農家の友三三六・三五—八、三三七・三
一—四

大日本農會四七八・二—七

二五五	石川 浦太郎(一二)	稻熱病菌に就て(四一五)	病蟲八・八一五、一二五—九
二五六	石山 信一(一二)	稻白葉枯病の研究	農試報告四五ノ三・二三三—六—
二五七	神澤 恒夫(一二)	山梨縣に於ける毒麥發生の顚末	病蟲八・三九七—四〇〇
二五八	笠井 幹夫(二三)	稻に寄生するギッペレルラ菌培養(英文)	大原農研報告二・二五九—七—
二五九	宮部 金吾(三三)	小麥の銹病に就て	札幌農林一四・一七九—九七
二六〇	三宅市郎・高田一男(二二)	フケ米及モス米の病原に關する研究	農試報告四五ノ二・七一—二三二—
二六一	三宅 端穗(二五)	稻熱病耐病性品種並に耐病性の遺傳に就て(講要)	農學會二七七・四九四
二六二	村田 壽太郎(三一)	水田雜草青綠泥類に就て(其一二)	病蟲八・三九二—七、九・四五三—六—
二六三	同	長野縣の稻熱病に就て	同 九・三六〇—五
二六四	同	麥白澁病豫防に磷肥の効驗	同 九・五九二—四
二六五	同	穗頸稻熱病豫防の應急策	同 一〇・三六九—七八
二六六	同	稻苗腐敗病の觀察	同 一二・五六〇—五
二六七	同	稻苗腐敗病に就て	大日本農會五三六・四三—七
二六八	村田壽太郎・池田武雄(二五)	大麥腥黑穗病の觀察	同 五二九・三三一—五
二六九	西門 義一(二二)	稻熱病菌に就いて	農學講演集第一(再版)九—一—二〇—
二七〇	同	稻の胡麻葉枯病菌の發育と溫度との關係	日本植病會報一ノ五・二〇—三〇
二七一	同	稻胡麻葉枯病菌の發育並に其病原性に及ぼす水素イオン濃度の影響(一九二三講演)	同 一ノ六・六七

本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二—一五)—三、普通作物

本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二一—五)一三、普通作物

一一六

二七二 西 門 義 一(二五) 禾穀類のヘルミントスボリウム病に就きて

農研七・一六三—九三

二七三 同 (二五) 玉蜀黍のヘルミントスボリウム病に關する研究
(摘要)

農學會二七七・四九〇—一

二七四 西門義一・三宅忠一(二二) 稻種の消毒並に稻胡麻葉枯病の豫防法(硫酸銅に
よる消毒法)(一一二)

病蟲八・四九八—五〇六、五三八—五〇

二七五 同 (二二) 稻の胡麻葉枯病の研究(英文)

大原農研報二・二三二—二九五

二七六 野津六兵衛・横木國臣(二四) 稻熱病菌寄主植物に關する研究(豫報)

病蟲一一・五六五—七

二七七 同 (二五) 稻熱病の治療並に稻熱菌接種の方法

同 一二・二三三—七

二七八 岡山縣内務部(二四) 大正十二年岡山縣に於ける稻熱病概況

產業叢書六九編

二七九 同 (二五) 病蟲害驅除豫防成績(稻熱病二二年)

同 七五編

二八〇 佐々木林太郎(三一) 稻熱病菌系統の存在に就て(一一二)

病蟲九・六三一—四五、一〇・一一二—一〇

二八一 同 (二五) 稻の病害防除に就て(一一三)

安城農報二〇・一六七—七〇、二二・一
九九—二〇三、二二・二二九—二二二

二八二 同 (二五) 再び稻熱病菌系統の分布について

同 二三・二四三—七

二八三 澤田兼吉・黒澤英一(二四) 稻馬鹿菌病豫防に就て(豫報)

臺灣中研農彙二・二一—一九

二八四 清水嘉太郎(二二) 麥斑葉病豫防硫酸銅浸法に就て

病蟲八・六〇七—一四

二八五 鹽見邦次(二五) 稻熱病と灌排水

農家の友三三四・三〇—三三

二八六 末松直次(三一) 稻耐病性品種と胡麻葉枯病(其二—三)

農學會二二・一五五—六〇、二三三・
九一—八

二八七 同 (二二) 麥の萎縮病に就て

同 二二・四・三—五十九

二八八 同 (二五) 應用植物學各論上卷

一一・二九四養賢堂

二八九 田 中 富 太 郎 (二四) 水稻

栃木農試特報第六報(病害)二九一二

二九〇 同 (二四) 陸稻

同 七 同 四五—七

二九一 同 (二五) 大麥

同 八 同 四四—九

二九二 田 中 友 右 衛 門 (二四) 麥萎縮病土壤消毒の實驗

病蟲一・四三六—七

二九三 田 杉 平 司 ・ 山 田 清 (二五) 大麥及裸麥の腥黑穗病に就て

日本植病會報一ノ六・三一—四一

二九四 栃 内 吉 彦 (二二) 小麥の褐銹菌(*Puccinia triticina*)の銹子腔時代に就て

病蟲九・六三—七

二九五 山 時 隆 信 (二一) 稻の病害と灌溉水との關係

大日本農會四八・二〇—七

二九六 同 (二三) 病害蟲の豫防上より見たる水稻栽培上灌溉水の價値と合理的方法

病蟲一〇・八七—九二

二九七 保 太 郎 (二五) 千葉縣下に發生して新聞を賑はし世間を騒がしたる毒麥の正體

同 一二・五二—五

二九八 吉 田 定 助 (二〇) 稻熱病の救済策に就て

京都農會三四・二〇—一

(農事試驗場業務功程、事業報告等)

二九九 愛知業功 稻熱病に對する稻品種及系統の抵抗性檢定試驗(大正一三年度)

稻病熱菌の生理的特性調査準備(二三)

稻熱病發生と施肥料成分に關する試驗(二三)

稻白葉枯病晩期發生による被害影響試驗(二三)

稻白葉枯病に對する品種委託試驗(二三)

三〇〇 秋田業報 排水及乾燥對稻熱病試驗(一一・一二)

水稻稻熱病委託試驗(二三)

三〇一 愛媛業功 稻品種白葉枯病抵抗力査定試驗(一一)

稻品種及系統間の白葉枯病抵抗力比較試驗(一二—一三)

稻白葉枯病に關する試驗(七—九)

水稻胡麻葉枯病に對する施肥試驗(七—八)

本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二—一五)—三、普通作物

稻胡麻葉枯病に關する試驗(八、一一)

稻熱病に關する試驗(七—一二)

稻菌核病に關する試驗(七、八、一三)

稻胡麻葉枯病接種試驗(七)

稻白葉枯病發生地土壤殺菌試驗(九)

稻品種の白葉枯病抵抗力試驗(一〇)

水稻胡麻葉枯病に對する試驗(一〇—一二)

三〇一 北海道業概 稻熱病と品種との關係試驗(一一)

三〇二 福岡業年 稻白葉枯病對品種比較試驗(九)

三〇四 兵庫業功 稻紋枯菌核病と品種との關係調查(一二)

稻早枯病に關する調查(一〇)及栽培試驗(一二)

稻白葉枯病の發生と施肥量及品種との關係調查(一〇)

稻白葉枯病被害歩合調查(一〇)

水田青綠泥雜藻の發生及び之が水温に及ぼす調査(一〇)

苗代青綠泥防除試驗(一二)

稻苗藥液浸漬藥害調査(一二)

稻苗綿腐敗病に關する調査(一〇)

稻不時出穗病發生調査(一一)

稻熱病に關する調査及耐病性査定試驗(一二—一三)

稻紋枯病と耐病品種調査(九)

稻紋枯菌核と施肥料との關係調査(九)

三原郡に於ける稻白葉枯病調査及び稻熱病調査(九)

稻再立枯病に關する調査(九)

稻銅石鹼液撒布試驗(一〇)

三〇五 石川業功 水稻鹽害抵抗力試驗(一一—一二)

三〇六 香川業年 稻白葉枯病豫防委託試驗(一二)

三〇七 鹿兒島業功 水稻穗首稻熱病豫防肥料及落水試驗品種試驗(一二—一三)

水稻白葉枯病豫防試驗並に品種試驗(一一—一二)

水稻白葉枯病菌接種試驗(一一一—一二三)

稻の萎黃病と品種との關係調査(一二三)

水稻穗首稻熱病豫防品種試驗(一一一—一二三)

稻熱病對刈株試驗(八、一〇〇)

三〇八 高知業功 稻の萎黃病豫防に關する試驗(八)

稻麥の倒伏と風雨との關係(八)

三〇九 熊本業功 稻菌核病豫防試驗(一一)同石灰効力試驗(一一)

稻熱病發生と窒素施用量關係試驗(一二三)

三一〇 京都業功 稻熱病耐病品種試驗(八一—一二三)

稻麴病豫防試驗(一二一—一二三)

稻白葉枯病豫防試驗(一二三)

石灰ボルドウ液の開花期に及ぼす影響と穗首稻熱病豫防試驗(一二三)

稻胡麻葉枯病豫防試驗(八)

苗代の播種量と病蟲害被害との關係(九)

石灰ボルドウ液の稻の生育に及ぼす影響(九—一二三)

稻耐病性品種比較試驗(一二一—一二三)

三一一 三重業報 水稻品種耐病性(稻熱病)試驗(一一—一二三)

稻熱病對肥料試驗(一二一—一二三)

水稻品種耐病性(菌核病)試驗(一一—一二三)

水稻菌核病豫防試驗對肥料試驗(一二一—一二三)

水稻品種の白葉枯病耐病性試驗(一一—一二三)

水稻白葉枯病對肥料試驗(一二一—一二三)

三一二 宮城業功 水稻潮害抵抗性品種比較試驗(一二三)

三二三 宮崎業功 稻白葉枯病豫防試驗(一二三)

三二四 長野業概 稻苗腐敗病豫防試驗(一二三)

稻馬鹿苗病豫防試驗(一二三)

稻熱病豫防及治療試驗(一二三)

三二五 長崎業功報 白葉枯病に對する抵抗力試驗(一二三)

三二六 奈良業功報 稻熱病豫防試驗(八一—一二三)

水稻白葉枯病豫防試驗(八一—一二三)

本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二一—五)—三、普通作物

本邦に於ける植物病害に関する文献目録(一九二一—五)一三、普通作物

一一〇

三六七 新潟農事報 稻葉切病に関する試験(九)

稻熱病及大粒白絹病に関する試験(九)

稻熱病に関する試験(一〇—一二)

水稻品種と大粒白絹病との關係試験(一二)

稻熱病品種關係試験(一二—一三)

三三八 農試(農商務省)事報 稻萎縮病の研究(一一—一二)

水稻耐病性に関する試験及育種試験(九—一二)

稻熱病に對する耐病性試験(一〇—一二)

三二九 農試(農商務省)業功 稻白葉枯病に関する試験(九—一〇)

稻萎縮病の病原研究(一〇)

水稻の病的褐色葉に関する研究(九)

稻紋枯病の研究(一〇)

三三〇 大分業功 陸稻旱害豫防法試験(一二)

稻白葉枯病に関する試験(八)

三三一 岡山業功 稻熱病豫防に関する試験(八、一二—一三)

稻熱病に関する調査(一二)

稻白葉枯病耐病性品種及藥劑撒布試験(一〇—一二)

稻熱病に關する調査(一二)

稻熱病對品種の耐病性強弱試験(一二)

稻熱病菌の系統の存在に関する研究(一二)

稻穗病菌の越冬に関する研究(一二)

三三二 佐賀業功 葉枯病耐病品種收量比較試験(一二)

稻白葉枯耐病品種試験(一一—一二)

水稻品種對並施肥稻熱病試験(一一—一二)

菌核病(紋枯菌核病)對品種試験(一二)

三三三 埼玉業功 水稻縞葉枯病豫防試験(一〇—一二)

稻穗病豫防試験(一〇—一二)

陸稻紋枯病豫防試験(一〇—一二)

水稻穗首稻熱病豫防試験(一〇—一二)

陸稻栽培法と旱害との關係試験(一二)

陸稻大豆の混植と旱害との關係試験(一二)

陸稻栽培法對土人踏壓と旱害との關係試驗(一二)

陸稻の旱害防止法に關する試驗(一三)

三三四 滋賀業功 水稻白葉枯病試驗(九、一〇、一一)

稻熱病に關する調査(一二)

三三五 島根業功 水稻品種と疾病抵抗力試驗(九)

水田の青綠泥塵除試驗(一〇)

三三六 靜岡業功 水稻耐病性調査(九)

稻熱病に關する研究(一〇)

三三七 千葉業報 稻病害に對する抵抗力調査(一一、一二)

三三八 栃木業功 肥料用量對胡麻葉枯病發病程度試驗(一二)

陸稻旱害豫防試驗(一二、一三)

三三九 德島業功 イモチ病豫防試驗(一一)

三四〇 富山業功 稻熱病に關する試驗(一二)

三四一 山形業功 陸稻刈刈加用試驗(一二)

稻熱病豫防試驗(一二)

三四二 山梨業報 水稻赤枯病豫防試驗(九、一一、一二)

三四三 大豆粕施用方法と稻の病害との關係試驗(九、一一)

稻品種と病害發生の多少(一〇)

三四四 水稻品種と稻熱病、葉枯病及萎縮病(九)

三四五 三要素施用量と稻熱病(九)

(以上稻の病害)

三四六 愛知業功 大麥斑葉病豫防に關する試驗(一二)

三四七 本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇)

三四八 本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇)

三四九 本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇)

三四〇 本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇)

三四一 本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇)

三四二

小麥葉枯病に關する試験(111)

三三四 愛媛業報 麥黑穗及斑葉病豫防試験(11)

麥斑葉病に關する試験(7)

大麥黑穗病に對する「チランチン」B藥効試験(111)

三三五 北海道業報 小麥冬損と品種との關係試験(10)

三三六 福井成報 麥連作に關する試験(九—10)

三三七 福岡業報 麥類黑穗病豫防風呂浸に關する試験(11)

麥萎縮病豫防試験(11)

三三八 福島業報 大麥黑葉病豫防試験(11)

同 防除試験(11)

三三九 兵庫業報 裸麥品種と赤黴病との關係調査(11)

小麥の硼酸液浸漬試験(111)

麥白澁病豫防銅石鹼液撒布試験(10)

麥種子消毒風呂湯浸法試験(10、11—111)

麥種子發芽促に關する試験(10)

麥種子消毒硫酸銅溫湯浸法に關する試験(11、111)

小麥腥黑穗病豫防各種藥液消毒試驗(11)

硼酸の麥種子發芽に及ぼす影響試験(11)

麥赤澁病白澁病の藥劑的豫防試験(11—11)

麥の黑穗病及斑葉病豫防に關する調査(九)

小麥縮葉枯病豫防試験及品種との關係調査(11—111)

麥種子硫酸銅浸漬試験(10—111)

麥斑葉病被害狀況調査(九)

三四〇 茨城業報 黑穗病豫防風呂湯浸液試験(11)

三四一 石川業功 麥斑葉病豫防の爲の種子消毒と發芽との關係(11)

三四二 岩手農試 黑穗病豫防試験(111)

三四三 香川業年 麥病害豫防と炭酸銅との關係試驗(一一)

麥品種と病害との關係調査(一二)

麥斑葉病の豫防と硫酸銅溶液との關係試驗(一一)
麥黑穗病及斑葉病豫防試驗(一二—一三)

石灰硫黃合劑と麥斑葉病豫防試驗(八、九、一三)

麥冷水溫湯溫度と發芽程度及發病との關係試驗(八)

麥冷水溫湯浸法と種子乾燥との關係試驗(八)

麥奴豫防冷水浸漬時間と溫湯浸漬時間との關係試驗(八一—九)

麥斑葉病發生調査(八)

三四四 高知業報 稻麥の倒伏と風雨との關係(八)

三四五 熊本業功

裸麥斑葉病並に黑穗病豫防として風呂湯浸效果試驗(一二)
裸麥品種と斑葉病發生關係調査(一一)

小麥赤澁病發生と追肥時期關係試驗(一一、一二)

小麥腥黑穗病豫防法試驗(一一)

小麥腥黑穗病豫防として硫酸銅液浸漬試驗(一一、一二)
裸麥斑葉病並に麥奴豫防として風呂湯浸液時間と効力との關係試驗(一二)

三四六 京都業功

大麥斑葉の病簡易豫防法(一〇、一一)

大麥裸麥黑穗病豫防試驗(一二)

麥の播種期及播種の深淺と大麥斑葉病との關係試驗(八一—九)

麥雲紋病豫防試驗(一二)

小麥赤澁白澁豫防試驗(一一)

三四七 三重業報

麥病害豫防試驗(一〇)

麥斑葉病豫防試驗(八一—一二)

麥の斑葉病黑穗病對種子風呂浸法試驗(一一—一二)

麥の病害豫防風呂湯浸法試驗(一〇)

志摩郡加茂村麥斑葉病豫防試驗設計並に成績(九)

三四八 宮崎業功

小麥の澁病類豫防試驗(九)

大麥斑葉病豫防試驗(九)

小麥赤澁病對石灰硫黃合劑(一一—一二)

麥斑葉病豫防石灰硫黃合劑種子消毒試驗(一一)

本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二—一五)—三、普通作物

小麥品種と赤澁病との關係試驗(一一三)

三四九 長野業概 大麥斑葉病豫防試驗(一一、一二三)

小麥腥黑穗病豫防試驗(一二)

麥類の病害對品種試驗(一一)

三五〇 長崎業功報 麥斑葉病と播種期との關係試驗(一一)

麥斑葉病豫防試驗(一二)

麥類黑穗病及斑葉病豫防風呂桶浸に關する試驗(一一)

三五一 奈良業功報 麥種子の風呂湯浸に關する試驗(一二)

三五二 新潟業報 大麥斑葉病と品種との關係(一二)

大麥斑葉病接種試驗(一二)

三五三 農試(農商務省)業功 大麥及裸麥腥黑穗病の研究(一二)

麥類冬枯に關する試驗(一二)

大麥及裸麥の葉枯病に關する試驗(九)

大麥腥黑穗病の研究(一〇)

三五四 岡山業功 麥種子消毒法効力試驗(一〇—一二)

硫酸銅に浸漬したる麥種子發芽に關する試驗(一一)

麥種子風呂浸法に關する試驗(一二)

麥の播種期と病害との關係試驗(一二)

麥種子豫漬消毒法効力試驗(一一—一二)

三五五 埼玉業功 大麥白澁病豫防試驗(一〇—一二)

大麥黑穗病及斑葉病豫防風呂湯浸に關する試驗(一〇—一二)

大麥冷水溫湯浸法試驗(一〇—一二)

大麥種子消毒に關する試驗(一〇—一二)

大麥播種期と斑葉病との關係試驗(一一—一二)

麥類黑穗病及斑葉病豫防試驗(一二、一二三)

麥類播種期と病害との關係試驗(一二、一二三)

三五六 滋賀業功 麥雲紋病に關する研究(一二)

大麥斑葉病豫防試驗(一二)

大麥種子消毒と發芽との關係試驗(一一二)

大麥赤黴病と肥料との關係試驗(一一三)

大麥斑葉病と播種期との關係試驗(九、一〇〇)

大麥斑葉病と種子消毒試驗(九、一〇〇)

三五七 島根業功 麥類の赤澁病及白澁病豫防試驗(一〇〇)

麥類黑穗病及斑葉病豫防風呂湯浸に關する試驗(一一)

三五八 靜岡業功 麥類斑葉病及び黑穗病豫防方法比較試驗(九)

三五六 千葉業報 麥病害に對する耐病性調査(一一)

麥黑穗病豫防風呂湯浸に關する試驗(一一、一二)

小麥稈黑穗病豫防に關する性(一二)

麥病害に對する抵抗力調査(一二)

麥「ネマトーダ」豫防に關する試驗(一二)

毒麥に關する調査(一二)

小麥稈黑穗病豫防に關する試驗(一二)

麥黑穗病豫防に關する試驗(一二)

三六〇 德島業功 麥立枯病豫防試驗(一二)

麥斑葉病豫防試驗(一二、一二)

麥品種と冷水溫湯浸法との關係(一二)

硫酸銅と麥生育との關係(一二)

三六一 東京業功 麥類黑穗病及斑葉病豫防風呂湯浸法に關する試驗(一二)

三六二 栃木業功 麥黑穗病豫防法比較試驗(一二)

三六三 富山業功 麥病害豫防試驗(一二) 麥品種對耐病試驗(一二)

三六四 山梨業報 大麥黑穗病及斑葉病に對する風呂湯浸法の効力試驗(九) 大麥品種と斑葉病(九)

麥萎縮病豫防試驗(一二、一二)

(以上麥類の病害)

三六五 熊本業功 粟白髮病豫防試驗(一二)

三六六 宮崎業功 粟品種と白髮病との關係試驗(一二)

本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二一—五) 三、普通作物

本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二二—二五)一四、特用作物

一二六

三六七 長野業概 粟黑穗病豫防試驗(一一、一三)

(以上粟の病害)

三六八 福岡業功 紫雲英菌核病に關する試驗(一三)

三六九 新潟事功 紫雲英菌核土中埋没の深さと發芽力との關係試驗(一一)

三七〇 農試(農商務省)事功 紫雲英菌核病の研究及調査(一〇) 紫雲英菌核病菌の菌核浸水試驗(九)

三七一 滋賀業功 紫雲英の根瘤附着期試驗(一〇)

三七二 富山業功 紫雲英菌核の水田に於ける死滅日數に關する試驗(一三) (以上紫雲英の病害)

三七三 福島業年 寒害豫防試驗(一一)

三七四 茨城業功 早害豫防試驗(一二)

三七五 岩手業功 冬害豫防試驗(一三)

三七六 長野業概 簡易溫湯浸法試驗(一一、一三)

三七七 新潟業報 獎勵原種と病蟲害との關係(九)

三七八 農試(農商務省)事功 すき黑穗病菌の生態に關する研究(一〇)

三七九 埼玉業功 灌漑と病害との關係試驗(一〇) 早害豫防に關する試驗(一〇)

四、特用作物の病害に關する事項

三八〇 足立 仁(二五)

立枯病に對する耐病性に罹病性、亞麻品種の化學的研究

札幌農林一七・三三七—八、農學會二七
六・四〇九—一〇

三八一 ト 藏梅之丞(二二) 改訂増補作物病害豫防驅除法

一一八二〇西ヶ原叢書刊行會

三八二	同	(二二)	紫雲英の種子中に混ざる菌核の除去に關する試験成績	病蟲八・四〇五—七
三八三	同	(二四)	播種期に際し紫雲英菌核病豫防として種子に混ざる菌核に注意せられよ	同 一一・四三七—四二
三八四	江 本 良 之	助(三五)	桑樹胴枯病に關する研究(一一二)	同 一二・一四九—五四、二〇四—九
三八五	原 攝	祐(二二)	桑の表白澁病	同 九・四二七—三一
三八六	同	(二五)	ツナソ(黃麻)の病害に就きて	同 一二・一四六—九
三八七	同	(二五)	實用作物病理學	一一五九四養賢堂
三八八	逸 見 武 雄(二二)		「ヌルヂ」炭疽病に就きて(豫報)	病蟲八・一〇—五
三八九	同	(二二)	漆屬植物の二炭疽病に就きて	札幌農林二・一四五—七四
三九〇	樋 浦	誠(二三)	亞麻の炭疽病に關する研究	同 一五・一一—三三
三九一	同	(二四)	亞麻の炭疽病並に其病原菌 <i>Colletotrichum Linzi</i> (Tschumi) に就て(英文)	日本植物輯報二・一一三—三三
三九二	北 海 道 農 試(二四)	亞麻		農試彙報三一・(病害)四九—五三
三九三	堀 正 太 郎(二三)		煙草作物病蟲害豫防試験の成績	病蟲一〇・一七一—八二
三九四	福 井 武 治(二五)		大麻の褐斑病に就て	同 一二・四四八—九
三九五	同	(二五)	エゴヤの病害二種	同 一二・五七二—四
三九六	福 士 貞 吉(二二)		杞柳の炭疽病に就て	同 八・六〇二—五
三九七	同	(二二)	杞柳の炭疽病に就て(英文)	日本植病會報一ノ四・一一—二
三九八	同	(二五)	作物病害雜記(一一二)	病蟲一二・三〇九—一二、四二五—八

三九九 出 田

新(二三) 續日本植物病理學上卷

一三三九八 養藤房

四〇〇 石川 瀧 太 郎(二五)

十字科蔬菜白腐病豫防に就て

病蟲一二二五九—六八

四〇一 石 山 信 一(二五)

蒟蒻の腐敗病と其豫防法

大日本農會五三三・一三一八

四〇二 岩 山 新 二(二四)

蒟蒻の白絹病に就て

農家の友一三ノ三一・一一一三

四〇三 鹿 兒 島 農 試(二三)

煙草立枯病豫防試驗

農試成績要報第五

四〇四 神 田 正 義(二五)

除蟲菊枯死病原の發見(第一報)

大日本農會五三七・七三一六

四〇五 笠 井 幹 夫(二三)

蘭草蛇紋病々原菌サーコスボリナ ジュンシコラに就きて(獨文)

大原農研報告二・二二五—三二

四〇六 同

(二三) 蘭に寄生する *Cecroporina jundola*, sp. n. 菌に關する短報(獨文)

日本植物報一・一〇五—一〇

四〇七 同

(二三) 蘭草蛇紋病の病原

農學講演集五・二二三—三七

四〇八 同

(二五) 蒟蒻玉の病氣

農家の友三三六・三二—四

四〇九 金 野 敬 三(二三)

薑苔の菌核病に就て(一一)

病蟲九・三七七—八二、四三一—七

四一〇 鉢 塚 喜 久 治(二二)

靜岡縣下に於ける茶樹餅病の發生に就て(一一)

同 九・一六八—七八、二九四—三〇二

四一一 桑山覺・粟林數衛・大島喜四郎(二五)

甜菜の病害蟲と其防除法

北海農試彙報三六・一一—三八

四一二 三宅 勉・脇 克明(二三)

甘蔗裂傷被害對照試驗

臺灣農事報一七七七八—四五四

四一三 水 野 勉(二四)

煙草立枯病の新豫防法に就て

大日本農會五一六・一八一—二七、五一七—一四〇

四一四 水 澤 芳 次 郎(二二)

泊芙蘭の腐敗病に關する研究

神奈川農試成績五一・一一—二九

四一五 同

(二三) 泊芙蘭の細菌病に就て(英文)

日本植病會報一ノ五・一一—二

四一六 村田 壽太郎(二四) 桑裏白葉病に就て

四一七 内 藤 正 雄(二六) 栽桑寒傷其他の病害並に其豫防法

四一八 中 田 覺 五 郎(二五) 大正十二年鹿児島縣下に發生せし所謂煙草の赤星病の病原に就きての考察

四一九 同 (二五) 煙草立枯病菌の寄生力に就て(一九二四年講演)

四二〇 中田覺五郎・中島友輔・瀧元清透(二二) 甜菜の病害に關する研究

四二一 同 (二二) 甜菜の褐斑病に關する調査(一一三)

四二二 同 (二四) 棉の角點病に關する研究

四二三 中田覺五郎・瀧元清透(二二) 人參の病害に關する研究

四二四 同 (二二) 甜菜の蛇眼病に關する調査

四二五 農 務 局(二四) 紫雲英の腐敗する病害豫防獎勵の急務(第三報)

四二六 同 (二二) 紫雲英の菌核に對病する注意

四二七 大 分 農 講(二二) 穀後圃之作り方

四二八 末 松 直 次(二四) 落花生の *Botrytis* 病に就て(獨文)

四二九 同 (二五) 應用植物學各論上卷

四三〇 鈴 木 廣 吉(二二) 桑樹の萎凋と土壤水分との關係

四三一 臺灣中研農業部(二五) 甘蔗地方品種試驗(大正十年)成績(赤腐病被害調査一五七八頁)

四三二 瀧 元 清 透(二三) 甜菜褐斑病菌の生活力に就て

本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二一—五)四、特用作物

病蟲一一・二五—八

北海農試彙報四・六五—九

病蟲一二・六二—一三〇

日本植病會報一ノ六・五三—六三

朝鮮動模研報六・一一—二八

病蟲一〇・二二—五、六七—七一、一二—一三

朝鮮動模研報一〇・一一—二二

同

病蟲一〇・四一—五—二四

病蟲害驅除豫防資料四號

大日本農會四八四・二八—九

臨時彙報五(病害)五一—七二

日本植病會報二・三五—八

一一二九四養賢堂

露病彙報一八・一一—二六

臺灣中研農業二六・一一—五八

日本植病會報一ノ五・四三—四

本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二一—五)四、特用作物

四三三 瀧 元 清 透(二四) 棉の病害(一一三)

四三四 柄 木 農 試(二二) 大麻の病蟲害

四三五 柄 内 吉 彦(二二) 亞麻の立枯病菌の生理的研究(英文)

四三六 同 (二二) 亞麻立枯病菌の炭水化物醱酵現象に就て

四三七 同 (二五) 亞麻子苗の立枯症狀に關する病理的研究
(一九二四年講演)

四三八 柄内吉彦・榎本鈴雄(二四) 亞麻の炭疽病豫防法としての種子乾熱殺菌に就て

四三九 山 内 爲 壽(二三) 桑樹寒枯研究の現狀

(農事試驗場業務功程、事業報告等)

四四〇 福島業年 土地消毒と蒔蒔葉枯病發生との關係試驗(一一一二) 蒔蒔葉枯病豫防と種玉消毒に關する試驗(一一一二)

肥料對蒔蒔葉枯病發生試驗(一一一二) 蒔蒔病害防除試驗(一一三)

蒔蒔種子玉消毒並莖葉消毒と葉枯病發生に關する試驗(一一一二)

四四一 兵庫業功 蒔蒔病害豫防試驗(一一三)

四四二 茨城業功 蒔蒔種球消毒試驗(九一二) 蒔蒔藥劑撒布法試驗(九一二)

蒔蒔病害抵抗性品種選拔試驗(九)

四四三 農試(農商務省)業功 蒔蒔腐敗病に關する研究(一二)

四四四 岡山業功 蒔蒔病害豫防試驗(九)

四四五 靜岡業功 蒔蒔病害豫防試驗(一一三)

蒔蒔白絹病豫防試驗(一〇・一一三)

四四六 千葉業功 蒟蒻腐敗病豫防種塊消毒に關する試験(一二一—一三)

四四七 徳島業功 蒟蒻腐敗病豫防試験(一一)

(以上蒟蒻の病害)

四四八 廣島業功 煙草立枯病豫防試験(一一)

四四九 石川業功 煙草立枯病豫防試験(一一)

四五〇 鹿兒島業功 煙草赤枯病及立枯病豫防試験(八)

煙草揖宿種純系耐病性比較試験(一三)

四五一 農試(農商務省)業功 煙草立枯病豫防試験(九—一二)

煙草の立枯病抵抗力に關する遺傳研究(一一、一二)

煙草速作試験(九—一二)

煙草苗床に於ける銅石鹼液の撒布適量試験(一一)

煙草一代雜種の病害抵抗力に關する試験(九)

煙草立枯病原菌の生育と低温度の刺激との關係試験(一〇)

煙草立枯病原菌の生育と酸との關係試験(一〇)

煙草立枯病土壤の酸度との關係調査(一〇)

四五二 徳島業功 煙草立枯病豫防試験(委託)(一一)

四五三 栃木業功 煙草立枯病豫防試験(一一)

肥料三要素と煙草赤星病との關係調査(一一)

(以上煙草の病害)

四五四 廣島業功 蘭草病害及栽培試験(八—九)

蘭草病害試験(一〇—一二)

四五五 福岡業功 蘭草蛇紋病委託試験(一一)

(以上蘭草の病害)

四五六 熊本業功 荏苳甲病豫防試験(一一)

四五七 大分業功 七島蘭鼈甲病豫防試験(九—一〇、一二—一三)

七島蘭鼈甲病發生時期調査(九、一二—一三)

四五八 靜岡業功 七島蘭鼈甲病豫防試験(一一)

(以上七島蘭の病害)

本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二—一五)四、特用作物

本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二一—五)四、特用作物

一三三

四五九 北海道業概 甜菜褐斑病豫防試驗(一二)及調査(一二)

(以上甜菜の病害)

四六〇 鹿兒島業功 茶葉枯病豫防試驗(八)

四六一 京都業功 茶の白紋羽病豫防試驗(一二)

四六二 滋賀業功 茶樹赤燒病豫防試驗(一二)

四六三 靜岡業功 茶餅病豫防試驗(九)

茶餅病に關する調査(八)

茶白紋羽病驅除豫防試驗(八)

(以上茶の病害)

四六四 長野業概 藥用人參根部消毒試驗(一二)

藥用人參莖葉消毒試驗(一二、一三)

藥用人參土壤消毒試驗(一二、一三)

(以上藥用人參の病害)

四六五 福島業年 ボルドー液撒布桑葉と蠶兒育生上に對する關係試驗(一三)

四六六 滋賀業功 桑苗根の化學的藥劑に對する抵抗力試驗(一二)

四六七 島根業功 桑葉紋羽病豫防試驗(九—一〇)

桑葉紋羽病免疫に關する研究(九—一〇)

四六八 山形業功 桑樹寒枯病豫防試驗(一一—一二)

桑樹鼠害豫防試驗(一三)

四六九 山梨業報 桑樹萎縮病豫防試驗(九—一二)

(以上桑の病害)

四七〇 農試(農商務省)事功 除蟲菊の菌核病に關する研究(一二)

四七一 岡山業功 除蟲菊小粒菌核病豫防試驗(九)

除蟲菊の病原に關する研究(一二)

(以上除蟲菊の病害)

四七二 兵庫業功 杞柳病蟲害の豫防驅除委託試驗(一二)

- 四七三 熊本業功 ザイトウイッケン菌核病豫防試験(一二)
- 四七四 農試(農商務省)事功 藥用植物吐根の病害調査並に治療試験(一〇)
- 四七五 岡山業功 薄荷立枯病豫防試験(一二)
- 四七六 富山業功 泊美蘭腐敗病豫防試験(一二)
- 四七七 和歌山成績 棕櫚立枯病豫防試験(一〇・一二)

五、果樹類の病害に關する事項

- 四七八 ト 藏 梅 之 丞(一二) 改訂増補作物病害豫防驅除法
 一八二〇西ヶ原叢書刊行會
- 四七九 同 (一一) 種苗に因て傳播する病害及本邦種苗產地に於ける
 病蟲八・五五五—六一
- 四八〇 同 (二四) 苗木假植場消毒の必要
 同 一一・六六三—四
- 四八一 同 (二四) 梨の黒斑病に就いて
 同 一一・四八三—五〇
- 四八二 同 (二五) 梨の黃粉蝨と黒斑病
 同 一二・六三〇—二
- 四八三 原 攝 (一二) 園藝植物病害管見(一一二)
 果樹二二〇・二一二、二二二・二三一—四
- 四八四 同 (一二) 梅の菌核病と其防除法
 中央園藝二四七・二九—三四
- 四八五 同 (一二) 赤星病論
 同 二三八—二四八・附錄二—二八
- 四八六 同 (二四) 柑橘の瘡癩病と其豫防法
 同 二五二・三四—四〇
- 四八七 同 (二五) 無花果の葉枯病
 同 二六二・三八—四〇

本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二一—五)五、果樹類

本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九三一—五)一五、果樹類

四八八 原 攝 祐(二五) 柑橘の瘡癩病に就いて

四八九 同 (二五) 實用作物病理學

四九〇 原 攝祐・松浦理太夫(二四) 杏の炭疽病に就て

四九一 逸 見 武 雄(二一) 西田氏柑橘炭疽病菌の病原性に就て

四九二 同 (二一) パルサヂヤホニカ菌の寄生に基因する櫻樹及び梅樹の病害に就きて(其三一五)

四九三 廣 木 孫 重(二三) 梨實葉蜂黒星病防除に就て

四九四 久 崎 輝 男(二三) 柑橘の象皮病

四九五 樋 浦 誠(二四) 札幌附近に於ける葡萄の根頸燒病に就て

四九六 北海道農 試(二二) 苹果樹病害蟲の防除

四九七 福岡縣内務部(二四) 果樹苗木病害蟲

四九八 福 士 貞 吉(二五) *Gymnosporangium Yamadae Miyabe* による苹果の赤星病に關する研究(英文)

四九九 同 (二五) 苹果赤星病免疫性品種に就て

五〇〇 出 田 新(二三) 續日本植物病理學上卷

五〇一 鐮 方 未 彦(二二) 桃の病害豫防に用ふべき殺菌劑に就きて

五〇二 同 (二三) 根頸瘡腫病に就て

五〇三 同 (二三) 岡山縣に於ける果樹の主要病害(一—四)

五〇四 同 (二三) 柿の病害に關する研究

一三四

中央園藝二七一・六四—六

一—五九四養賢堂

中央園藝七五九・二六—九

病蟲八・一七—三七

果樹二一六・一—四、二二七・一—四、二一八・四五

病蟲一〇・二七—二五

中央園藝二三九・三五—四〇

札幌農林一五・四三—一五〇

彙報二七・一—七七

病蟲害驅除豫防資料七號

北大農記一五・二六九—三〇七

病蟲一二・二四七—五一

一—三九八養華房

農家の友二七五・七一—〇

同 二八四・二四—八

同 八六・二—一八、二八七・二三—五、二八八・一八—二二、二九五・二—七

岡山農試臨報二四・一—六四

五〇五	同	(二四)	梨の赤星病菌の種類に關する研究	同	二五・一七五
五〇六	同	(二四)	岡山縣下に發生したる葡萄の菌核病に就て	病蟲一・五一〇—二	
五〇七	鑄方未彦・人見隆(二四)	(二四)	藥劑散布による梨の赤星病豫防に就て	同 一一・四二七—三六	
五〇八	池田憲司(二三)	(二三)	枇杷の結實と凍害に就て	日本園藝三五・一一三	
五〇九	石山信一(二三)	(二三)	李黒斑病に關する研究	農試報告四五ノ三・二六三—七七	
五一〇	鹿兒島農試(二三)	(二三)	柑橘瘡痂病豫防試驗	農試成績要報第五	
五一一	上林諭一郎(二三)	(二三)	洋梨の腐爛病抵抗性砧木イヌ梨に就て	日本園藝三五ノ八・二—一	
五二二	川上孝一郎(二二)	(二二)	柑橘潰瘍病に就て、病原細菌に對する藥劑殺菌作用	植物病理論文彙一五五(全一—八三)	
五二三	同	(二二)	梨赤星病菌の接種試驗	同 一七七—八三(全一—八三)	
五二四	數井正俊(二二)	(二二)	梨病害蟲驅除豫防曆	病蟲九・三四—八	
五二五	同	(二二)	梨及苹果の腐爛病	同 九・五四五—九、五九四—九	
五二六	小熊彦三郎(二二)	(二二)	枇杷の紫紋羽病と日燒病に就て	日本園藝三四ノ七・二三—六	
五二七	鍛塚喜久治(二二)	(二二)	李黒斑病細菌の研究(英文)	日本植病會報一ノ四・二—九	
五二八	同	(二四)	蜜柑の褐色腐敗病	中央園藝二五五・三—二七	
五二九	三浦道哉(二二)	(二二)	苹果樹根腐病に就て	病蟲九・四二四—六	
五三〇	同	(二五)	果樹のモニリア病に就て	南滿農試彙報一八・一—九〇	
五三一	三宅忠一(二三)	(二三)	櫻の穿孔性褐斑病	日本植病會報一ノ五・三一—四二	

本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二—五)五、果樹類

本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二一—五)五、果樹類

一三六

五二二 村田壽太郎(二二) 苹果黑腐病に就て

果樹二三六・三七—九

五二三 同 (二三) 苹果病蟲害防除略曆

中央園藝二四五・二九

五二四 同 (二四) 最近の苹果病蟲防除曆案

病蟲一一・六六七—九

五二五 長野農試(二五) 苹果病蟲害略曆

中央園藝二六五・五〇—一

五二六 長崎農試(二四) 梨の病蟲害防除法

臨時報告二五號(病害八一—六)

五二七 中島友輔・瀧元清透(二四) 洋梨の胴枯病に就て

病蟲一一・四一五—二一

五二八 南部信方(二一) 果樹類の病害

同 八・六〇五—六

五二九 二宮元孝(二四) 果樹苗木病菌害蟲の檢査取締に就て

同 一・三三三—七六

五三〇 西田藤次(二二) 李銀葉病

同 九・三四—一八

五三一 同 (二三) 柑橘早護謨病

中央園藝二四二・三〇—五

五三二 同 (二三) 瘡痂病及黑點病の豫防法に就て

同 二四三・二六一—八

五三三 西門義一(二一) 葡萄の房枯病に就きて

日本植病會報一ノ四・二〇—四二

五三四 同 (二三) 葡萄の房枯病並に白腐病に就きて(獨文)

大原農研報告二・二七三—八七

五三五 野口徳三(二一) 柑橘介殼蟲に寄生する有益菌

果樹二二五・二八

五三六 農務局(二二) 警戒を要すべき果樹類の一大病害

同 二三七・二—三

五三七 同 (二三) 果樹類の根頭癌腫病

病蟲彙報九・一一—八

五三八 同 (二四) 果樹類根頭癌腫病の豫防

病蟲害驅除豫防獎勵資料三

五三九 同

(二四) 果樹類の根頭癌腫病

中央園藝二五八・一七—二二

五四〇 額田 一穂

園(二四) 葡萄病害豫防試験成績

農家の友三二〇・一一、三二七・七八、
三三八・三七—四一

五四一 大井 上

康(二五) 葡萄の黒痘病豫防と鐵劑の効果

中央園藝二六三・五九—六〇

五四二 岡山縣内務部

(二四) 病蟲害驅除豫防成績(果樹の根頭癌腫病)

産業叢書六五編一七三(一六)

五四三 恩田 鉄彌

(二五) 苹果紅玉種の腐敗に就て

中央園藝二六三・二五—八

五四四 澤田兼吉・黒澤英一

(二四) 柑橘象皮病豫防に對する石灰硫黃合劑の濃度に就て

臺灣中研農集一七・一一—八

五四五 同

(二四) 眞林地方に於ける 柑象皮病豫防試験成績

同 一八・一一—二八

五四六 同

(二五) 柑橘瘡痂病の病原菌に就て(豫報)

同 二四・一一—二三、臺灣農事
報一九・四二—五九

五四七 澤田兼吉・末田平七

(二二) 麻豆文旦象皮病の豫防

臺灣農事報一六・九九〇—九、臺灣中研
農集九・二—一

五四八 繁田 正芳

(二五) 滿洲の果樹園經營(病蟲害驅除豫防)

南滿鐵産業資料其二五・一四五—八二

五四九 島 善隣

(二二) 注意すべき苹果の萎凋病(假稱)

果樹二三〇・二七—九

五五〇 末松 直次

(二二) 桃の炭疽病に就て

日本園藝三三ノ二・一五—八

五五一 同

(二二) 桃の炭疽病に對する抵抗試験

同 三三ノ五・二四—七

五五二 同

(二五) 應用植物學各論上卷

一—二九四養賢堂

五五三 龍元 清透

(二二) 果樹の生理的病害

日本園藝三四ノ五・一八—二一

五五四 同

(二二) 苹果の黒腐病

同 三五ノ八・一二—一五

五五五 田中 長三郎

(二二) 日本に於ける柑橘瘡痂病の簡單なる沿革(英文)

Phytopathology 一三・四九—一五

本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二—一五)、果樹類

五六六 富 樫 浩 吾(二四) 日本華果の廣爛病と其病原菌 *Yulpa Muli* に關する研究(英文)

北大農紀二・二六五—三二四

五五七 辻 良 介(二三) 本邦に於ける柑橘象皮病(銹壁丸)の記錄に就て

中央園藝三四三・二九—三三、二四四・三〇—三

五五八 渡 邊 柳 藏(二三) 滿洲に於ける梨樹栽培上樹幹樹皮剝皮法に就ての研究

南滿農試彙報一四・一—五

五五九 山 時 隆 信(二三) 秋夏橙の凍害問題(上下)

中央園藝二四八・二—七、二四九・六一—二

五六〇 吉 田 末 彦(二三) 柿の落葉病に就て

病蟲九・一一—六

五六一 一 記 者(三一) 柑橘潰瘍病豫防試驗(一一五)

中央園藝二六・一三五—九、二六二—五〇、二六三・六一—五、二六五・四五—九、二六七・三—五

五六二 某 (二三) 果樹栽培書に於ける梨及桃の病害一二の所見

同 二四六・三—四

(農事試驗場業務功程、事業報告等)

五六三 廣島業功 根頭癌腫病豫防土壌消毒試驗(一一二)

根頭癌腫病豫防傷口消毒試驗(一一二)

果樹病害豫防試驗(一〇)

五六四 農試(農商務省)事功 果樹の返り咲きに關する試驗(一〇)

根頭癌腫病の研究(一〇)

五六五 埼玉業功 苗木病害豫防試驗(一〇)

果樹根頭癌腫病豫防試驗(一〇、一一)

果樹類の種類及品種と病害との關係試驗(一一)

砧木の仕立法と病害との關係試驗(一一)

接着部及其接觸土壌消毒試驗(一一)

砧木の根部消毒試驗(一一)

苗木の治療に關する試驗(一一)

接着部及病土壌消毒試驗(一一)

接着部及接觸土壌消毒試驗(一一)

(以上一般果樹の病害)

五六六 秋田業功 梨の輪紋病並に疣狀癌腫病に關する調査(一一)

五六七 愛媛業報 梨褐斑病と樹勢(八)

梨黑腐病一名輪紋病と樹勢(八)

梨黑星病と肥料及果實留過の關係調査(七)

梨輪紋病(黑斑病)豫防試驗(七)

パトロン紙と新聞紙と梨果實袋としての比較試驗(一二)

五六八 廣島業功 梨赤星病豫防試驗(一二)

五六九 福島業年 梨黑星病豫防試驗(一一—一二)

五七〇 鹿兒島業功 梨赤星病豫防試驗(八、一〇—一二)

五七一 奈良業功 梨輪紋病豫防試驗(八—九)

梨の黑星病豫防試驗(八)

五七二 農試(農商務省)事功 梨黑斑病の研究(一〇、一二)

梨の枝幹に生ずる疣病の研究(一〇)

五七三 岡山業功 梨黑斑病豫防試驗(一二)

梨赤星病豫防法としての中間寄生植物に對する藥劑撒布の効果に關する研究(一二)

梨赤星病菌の種類に關する研究(一〇—一二)

梨黑斑病に關する試驗(一〇)

五七四 島根業功 梨黑星病豫防試驗(九)

(以上梨の病害)

五七五 秋田業功 苹果落葉病及實腐病豫防試驗(鹿角郡雄勝郡)(一二)

苹果實腐病豫防試驗(九、一二)

五七六 愛媛業報 苹果褐斑病と樹勢(八)

五七七 京都業功 苹果苦腐病豫防試驗(九—一二)

苹果消毒劑使用試驗(一二)

五七八 長野業概 苹果赤星病豫防試驗(一二)

(以上苹果の病害)

五七九 新潟事報 苹果病害防除試驗(九)

五八〇 福島業年 桃の樹脂病と外科的治療關係調査(一二)

本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二—五)—五、果樹類

本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二一—五)五、果樹類

一四〇

五八一 宮崎業功 桃炭疽病豫防試験(一一—一三)

(以上桃の病害)

五八二 福島業年 櫻桃の落葉病と内科治療關係調査(一三)

五八三 山形業功 櫻桃の生産品統一並に落葉病豫防(一二)

(以上櫻桃の病害)

五八四 愛媛業報 枇杷の褐斑病及灰斑病と樹勢(八)

五八五 廣島業功 枇杷瘡癰病豫防試験(九)

(以上枇杷の病害)

五八六 愛媛業報 柑橘黃斑性落葉病及圓星病及葉枯病と樹勢(八)

柑橘瘡癰病及圓形瘡癰病(潰瘍病)と剪定附ボルドー液撒布(八)

柑橘虎斑病調査豫防試験(八—一二)

五八七 福岡業年 柑橘類瘡癰病豫防試験(一〇、一一、一三)

柑橘類潰瘍病豫防試験(一〇、一一、一三)

五八八 鹿児島業功 櫻島蜜柑早ゴム病防除試験(一三)

柑橘瘡癰病豫防試験(八)

柑橘象皮病豫防試験(一一—一三)

五八九 三重業報 柑橘瘡癰病豫防試験(八—一〇)

柑橘瘡癰病の石灰ボルドー液と銅石鹼液との豫防効果試験(一一)

柑橘瘡癰病豫防實施後翌年に及ぼす効果比較試験(八)

五九〇 宮崎業功 柑橘赤衣病豫防委託試験(一一—一三)

ボルドー液と石灰硫黃合劑撒布期間の柑橘に及ぼす影響試験(一一)

銅石鹼液の温州蜜柑瘡癰病に對する殺菌力效果に關する試験(一一—一三)

柑橘斑葉病治療試験(一一—一二)

五九一 奈良業功 柑橘落葉病豫防試験(八—一二)

五九二 農試(農商務省)事功 柑橘類の斑葉病治療試験(一〇)

五九三 佐賀業功 柑橘病害防除試験(一一—一二)

五九四 島根業功 柑橘瘡痂病豫防試験(九一—一〇)

五九五 靜岡業報 柑橘潰瘍病豫防試験(九)

五九六 德島業功 柑橘潰瘍病豫防試験(一一)

五九七 和歌山成績 柑橘虎斑病豫防試験(一〇—一一)

瘡痂病豫防劑附着劑加用試験(一一—一二)

柑橘象皮病豫防試験(一〇—一一)

五九八 山口業年 柑橘潰瘍病豫防試験(一二)

五九九 奈良業功 葡萄黒痘病豫防試験(八)

六〇〇 新潟事報 葡萄黒痘病豫防試験(一一)

葡萄病害豫防試験(一一—一二)

六〇一 岡山業功 葡萄の蔓割病に關する研究(一二)

六〇二 島根業功 葡萄黒痘病豫防試験(九)

六〇三 千葉業報 葡萄黒痘病に對する豫防効果比較試験(一一)

六〇四 鳥取業功 葡萄晩腐病豫防試験(一一—一二)

葡萄黒痘病豫防試験(一二)

(以上葡萄の病害)

六〇五 廣島業功 柿落葉病豫防試験(一二)

六〇六 福島業年 柿炭疽病豫防試験(一二)

夏橙潰瘍病豫防に關する試験(一二)

温州蜜柑瘡痂病豫防試験(一〇—一二)

柑橘潰瘍病豫防試験(一〇—一二)

柑橘に對する殺蟲殺菌劑の相接近しての交互使用に依て藥害の有無程度試験(一二)

(以上柑橘の病害)

葡萄晩腐病豫防試験(一二)

葡萄の菌核病に關する研究(一二)

六〇七 岡山業功 柿の病害豫防試験(一〇—一二)

柿炭疽病及落葉病の病原菌越冬に關する調査(一〇)

柿落葉病豫防試験(一二—一三)

六〇八 埼玉業功 柿の炭疽病豫防試験(一〇)

六〇九 千葉業報 柿炭疽病豫防に關する試験(一一—一三)

六一〇 鳥取業功 柿樹落葉病防除試験(一一—一二)

六一一 和歌山成績 柿落葉病(角斑病)豫防試験(一〇—一二)

(以上柿の病害)

六、蔬菜類並に花卉類の病害に關する事項

六二二 ト藏 梅之丞(一一) 改訂増補作物病害豫防驅除法

一一八二〇西ヶ原叢書刊行會

六二三 後藤 和夫(二五) 盛岡病害雜記(一)

病蟲一二・六七七八二

六二四 原 攝祐(二四) 蕨の赤銹病

同 一一・六〇八一—一六

六二五 同 (二五) 實用作物病理學

一一五九四養賢堂

六二六 橋本 鑑次(二三) 大根と菜類の主なる病蟲害と驅除法

農家の友二九二・八

六二七 逸見 武雄(一一) 豌豆の炭疽病

病蟲八・二二九—三三

六二八 同 (一二) *Pythium de Baryanum* 及び *Gorticium vagum* による Garden-Cress 苗の立枯病の發育と溫度との關係(英文)

Phytopathology 一三・二七三—八二

六二九 樋浦 誠(二五) 小豆の葉枯病に就て

札幌農林一七・二八八—九、農學會二七
六・三七四

六三〇 同 (二五) 食用百合の白斑病に就きて

日本植病會報一ノ六・二〇—三〇

六二一	北海道農試(二一)	馬鈴薯組皮病豫防試験	報告二一・四一—五
六二二	同	(二一) 馬鈴薯に對するボルドー合劑撒布試験	同 一一・四五—七
六二三	同	(二一) 大豆萎黃病に關する調査	同 一一・四七—五九
六二四	同	(二三) 豌豆品種の特性に關する調査及試験成績	同 一二(病一二六—九)
六二五	同	(二四) 結球白菜	彙報三二(病一三一—四)
六二六	同	(二四) 蕃茄	同 三四(病二五—三〇)
六二七	同	(二五) 甘藍	同 三七(病五三—六)
六二八	堀 正太郎(二三)	瓜類の萎黃病又はモザイク病	病蟲一〇・三〇三—一〇
六二九	同	(二五) 西瓜の連作と立枯病との關係附其新豫防法	日本園藝三七ノ五・一一四
六三〇	福士 貞吉(一一)	萵尾類の黒斑病に就て	病蟲八・二〇—五
六三一	福士貞吉・田中彰一(二五)	西瓜の蔓割病に就きて	同 一二・二八九—九四
六三二	出 田 新(二三)	續日本植物病理學上卷	一—三九八(裳華房)
六三三	猪 狩 源三(二五)	馬鈴薯萎縮病に關する化學的研究	札幌農林一七三六六—七二
六三四	同	(二五) 馬鈴薯萎縮病に關する研究	農學會二七六・四二八—三一
六三五	鏑 方 末彦(二二)	胡瓜、瓠瓜、甜瓜及び扁蒲の病害豫防としての藥劑撒布を要む	農家の友二七四・一六—二二
六三六	鏑方末彦・齋藤太二(七五)	漬菜類及蕪菁の炭疽病に就て	病蟲一二・三七九—八二
六三七	石 田 眞一(二四)	薯類の病蟲害	中央園藝二五三・三一—五

本邦に於ける植物病害に關する文獻目録(一九二—五)一六、蔬菜、花卉類

- 六三八 石田 和 三 郎(一一) 蕃椒病害防除試驗
病蟲八・四〇二—五
- 六三九 石川 瀧 太 郎(二二) 茄子と石灰硫黃合劑
同 八・一七七—八五
- 六四〇 笠 井 幹 夫(一一) 英國にて實驗せられたる馬鈴薯のジャギの簡易で
興味ある誘引的新方法
農家の友二六九・一六一—二二
- 六四一 同 馬鈴薯腐皮病の豫防劑としての接種硫黃と不接種
硫黃の比較價值
病蟲八・二二七—九
- 六四二 同 (一一) 日本に於ける馬鈴薯葉捲病の觀察及實驗豫報(英文)
大原農研報告二ノ一・四七七—七七
- 六四三 同 (一二) 馬鈴薯の葉捲病シャシャキ(其一一—三)
農家の友二七六・七—二二、二七七・一
六一二—二七八・二—二七
- 六四四 同 (一二) 胡瓜のモザイク病論(其一一—四)
同二七九・二〇—四、二八〇・一八一—
八・二八一・五—一〇、二八二・五一—二二
農學講演集五・四二—七
- 六四五 同 (一二) 同
病蟲一〇・一八六—九七、一〇・二三—
一七
- 六四六 同 (一二) 馬鈴薯葉捲病(豫報)(一一—二)
同 一一・五五一—六
- 六四七 同 (二四) 馬鈴薯葉捲病の豫防驅除案
大原農研報告二・四六三—七
- 六四八 同 (二四) 蒟蒻の乾性腐敗病原としてのフザリウム、ソラニ
ト(英文)
同 二・四四三—六
- 六四九 同 (二四) 葉捲病モザイク病並に健全植物に於けるネルソ
ン氏體の研究(英文)
同 二・四四三—六
- 六五〇 同 (二五) 馬鈴薯退病化豫防法としての健全種薯の育成
病蟲一二・三五九—六二
- 六五一 同 (二五) フザリウム・ナスビデオチの培養及形態(英文)
大原農研報告二・五四七—五八
- 六五二 同 (二五) 馬鈴薯の葉捲病に就きての知見
農研七・六一—一九
- 六五三 同 (二五) 蠶豆の立枯病の話
農家の友三三四・二〇—二
- 六五四 川 村 幹 雄(一二) 溫室花卉の病害
日本園藝三四ノ五・二—八

六五五 同 (二三) 大豆紫斑病に關する研究

六五六 國分 慶 英(二二) 葱頭黑穗病(豫報)

六五七 近藤 鉄 馬(二五) 馬鈴薯茄皮病豫防の一實驗例

六五八 栗林 數 衛(二二) 甘藷の根朽病

六五九 畝塚 喜久 治(二三) 茄子果綿疫病の内地に於ける發生に就て

六六〇 松本 魏(二二) 小豆モザイック病研究豫報(其一)

六六一 同 (二二) 再び豆類のモザイック病について

六六二 同 (二二) 小豆のモザイック病に關する二三の實驗(英文)

六六三 松本 魏・友安亮一(二五) 大豆の紫斑病に關する研究(英文)

六六四 松浦 勇(二五) シロツメクサ及びアカツメクサの汚斑病に就きて

六六五 三宅 忠 一(二四) ギッペレルラ菌による蠶豆の立枯病(英文)

六六六 水口 幾 壽(二三) 胡瓜露菌病豫防劑としての銅石鹼液

六六七 村田 壽太郎(二二) 胡蘿蔔斑點病と其豫防法(其一—二)

六六八 同 (二二) 甘藷腐敗病に就て

六六九 同 (二四) 茄子セルコスボラ斑病に就て

六七〇 同 (二五) 茄子褐色圓星病

六七一 中田覺五郎・瀧元清透(二三) 黃蜀葵の黑斑病

本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二—五)一六、蔬菜、花卉類

滋賀農試成績報告一二二四

病蟲八・二四五—五〇

日本園藝三七ノ一〇・一〇—五

病蟲八・二二九—三五

同 一〇、四九七—九

同 九・一三—七

同 九・五一七—二〇

Phytopathology 一二・二九五—七

日本植病會報一ノ六・一一—四

病蟲一二・六六八—七三

大原農研報告二・四三五—四二

病蟲一〇・五〇六—八

同 八・一八五—八八、二三—六

同 九・四八七—九五

同 一一・六二〇—一

中央園藝二六六・三三—四

日本植病會報一ノ五・一三—九

六七二 西 田 藤 次(二二) 甘藍黑脚病

病蟲九五・七三—七七

六七三 同 (二三) 胡瓜角斑病

同 一〇・六五—六七

六七四 同 (二三) 馬鈴薯黑脚病

同 一〇・三一〇—四

六七五 同 (二三) 胡瓜の炭疽病

中央園藝二三八・二九—三六

六七六 同 (二三) 蕃茄の萎凋病

同 二四〇・四二—六

六七八 額 田 一 穂 圓(二四) 球莖甘藍の萎縮病に就て

農家の友三〇七・一五—六

六七九 岡 田 十 藏(二二) 蓮根腐敗病の豫防に就て

病蟲九・六四五—五〇

六八〇 岡 山 縣 農 會(二四) 大根類及漬菜の病蟲害防除法

農家の友三一五・六—七

六八一 三 箇 功(二四) 大豆の栽培(大豆の病害)

南滿鐵產業資料其三・三九八—四三五

六八二 柴 田 萬 年(二四) 小豆の褐斑病に就て

病蟲一一・六七—二五

六八三 清 水 嘉 太 郎(二四) つくね薯の葉枯病と其豫防法

日本園藝三六ノ八・一七—二〇

六八四 末 松 直 次(二五) 應植物學各論上卷

一一二九四養賢堂

六八五 瀧 元 清 透(二二) 大豆の細菌性斑點病

病蟲八・二三七—四一

六八六 同 (二二) 野菜の腐敗に關する研究

同 八・三四四—五四

六八七 同 (二二) 蕃茄の細菌病

同 八・五一〇—二

六八八 同 (二四) 商蒿の腐敗病

九大學藝一ノ一・三三—八

六八九 田 中 敬 忠(二二) 和歌山に於ける降雹と蔬菜の被害

日本園藝三四ノ六・二五—七

六九〇 田 中 彰 一(二四) 薯蕷の葉斑病に就て

病蟲一一・九三一五

六九一 田 中 友 右 衛 門(二一) 大豆線蟲(假名)に就て

同 八・五五一三

六九二 友 安 亮 一(二四) 大豆紫斑粒の病原菌に關する研究(豫報)

同 一一・三一〇一五

六九三 同 (二五) 大豆紫斑病に關する研究

盛岡同憲學彙二・五三—七三

六九四 板 内 吉 彦(二五) 蕃茄モザイク病の病原體に關する研究豫報

札幌農林一七・三一—農學會二七六・三

六九五 山 田 濟(二三) 蕃茄の斑點病に就て

病蟲一〇・五四九—五四

六九六 山 本 和 太 郎(二五) 大豆の一新病害に就て

同 一二・九七一九

六九七 山 中 義 雄(二四) 芍藥炭疽病に就て

同 一一・三七九—八一

(農事試驗場業務功程、事業報告等)

六九八 廣島業功 毒劑灌注の甘藷に及ぼす關係試驗(一〇)

六九九 京都業功 甘藷紫紋羽病豫防試驗(九—一二)

七〇〇 農試(農商務省)業功 甘藷心腐病に關する試驗及調査(九—一〇、一一) 甘藷黑疣病豫防試驗(一二)

七〇一 大分業功 甘藷黑疣病豫防試驗(九)

七〇二 德島業功 甘藷黑疣病豫防試驗(一一)

(以上旋花科植物(甘藷)の病害)

七〇三 愛知業功 西瓜の病害に關する調査(一二)

七〇四 福岡業年 胡瓜(ト病豫防藥劑効果比較試驗(十〇、一二)

七〇五 兵庫業報 瓜類露菌病豫防試驗(一〇、一二)

胡瓜銅石鹼液撒布試驗(一〇)

本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二—一五—一六、蔬菜、花卉類)

一四七

七〇六 茨城業功 西瓜連作試験(一〇—一二)

胡瓜露菌病豫防用藥劑効力試験(一一)

七〇七 香川業年 胡瓜露菌病豫防試験(一一)

七〇八 鹿兒島業功 胡瓜露菌病豫防試験(八)

七〇九 熊本業功 瓜露菌病豫防として銅石鹼液効力試験(一一、一二)

七一〇 宮崎業功 胡瓜の炭疽病對殺菌劑効力比較試験(九)

七一一 長野業概 瓜類露菌病豫防試験(一二)

七一二 長崎業功報 胡瓜病害に對する銅石鹼液の效果試験(一二)

七二三 奈良業功報 西瓜蔓枯病豫防試験(一〇—一二)

七二四 新潟業報 南瓜落花防止法試験(九)

七二五 佐賀業功 胡瓜病豫防試験(一二)

七二六 埼玉業功 胡瓜露菌病豫防試験(一〇)

七二七 滋賀業功 胡瓜ベト病豫防劑としての藥劑効力比較試験(九)

胡瓜露菌病豫防試験(一〇—一二)

七二八 靜岡業報 胡瓜病害防除試験(一二)

七二九 千葉業報 瓜類露菌病に關する試験(一二)

西瓜ネマトード防除試験(一二)

七三〇 東京業功 胡瓜病害豫防試験(一二)

七三一 鳥取業功 胡瓜露菌病豫防試験(一一—一二)

七三二 山形業功 胡瓜病害豫防試験(一二—一三)

七二三 山梨業報 胡瓜ベト病と殺菌劑の効力試驗(一二一三)

(以上胡。蘆。科。植。物。(西瓜、胡瓜、南瓜、其他瓜類)の病害)

七二四 廣島業功 菜豆白絹病豫防試驗(一一一二)

七二五 北海道業概 豌豆連作試驗(一〇一十一)

菜豆細菌病防除試驗(一〇一十一)

豌豆爛地病恢復年限試驗(一一)

豌豆爛地病防除試驗(一一)

菜豆飯工病に關する試驗(一〇一十二)

七二六 兵庫業報 蠶豆病害豫防試驗(一一三)

七二七 宮城業功 大豆紫斑粒に關する試驗(一二一四)

大豆紫斑病抵抗力品種比較試驗(一四)

七二八 長野業概 蠶豆赤澁病豫防試驗(一一三)

七二九 新潟業報 大豆病害試驗(九一〇)

大豆月夜病試驗(一〇)

七三〇 滋賀業功 大豆紫斑病原に關する研究(一一)

七三一 栃木業功 大豆紫斑病豫防法に關する試驗(一一三)

(以上豆。科。植。物。(大豆、菜豆、豌豆、蠶豆等)の病害)

七三二 秋田業報 馬鈴薯種薯處理試驗(九、一一一二)

馬鈴薯病害豫防試驗(一二)

七三三 愛媛業功 馬鈴薯金時種選拔系統萎縮病抵抗力比較試驗(一二)

馬鈴薯各品種萎縮病抵抗力比較試驗(一二)

七三四 廣島業功 馬鈴薯細皮病豫防試驗(八一二)

七三五 北海道業概 馬鈴薯萎縮病に關する調査(一一)

七三六 福島業概 馬鈴薯疫病と種薯消毒との關係試驗(十一一二)

七三七 宮崎業功 馬鈴薯細紋病被害種子薯消毒試驗(九、一一一三)

本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二一—五)六、蔬菜、花卉類

七三八 長崎業報 馬鈴薯瘡癰病と品種との關係試驗(一一)

七三九 新潟業報 馬鈴薯青枯病試驗(一〇)

馬鈴薯病蟲害防除試驗(九)

馬鈴薯種薯豫措と病害との關係試驗(一一)

七四〇 埼玉業坊 馬鈴薯疫病豫防試驗(一〇—一二)

七四一 山形業坊 貯藏馬鈴薯の種薯消毒(一二)

(以上茄科植物(馬鈴薯)の病害)

七四二 愛知業功 茄子連作病害豫防試驗(一二—一三)

七四三 秋田業報 蕃茄青枯病豫防試驗(一二)

七四四 愛媛業功 茄子青枯病抵抗性系統選抜試驗(九—一二)

七四五 廣島業功 茄子連作試驗(八—一二)

蕃茄立枯病豫防試驗(一二)

七四六 北海道業功 蕃茄葉枯病豫防試驗(一二)

蕃茄モザイク病に關する調査(一二)

七四七 堀田家要報 茄子連作試驗對青枯病及立枯病(其一、二)(第六)

七四八 兵庫業功 茄子連作と病害發生狀況調査(一一—一二)

茄子の品種と綿疫病との關係調査(一四)

七四九 茨城業功 茄子連作試驗(一一—一二)

七五〇 鹿兒島業功 茄子立枯病豫防試驗(八)

蕃茄立枯病豫防試驗(八)

七五一 熊本業功 茄子青枯病豫防として石灰窒素效果試驗(一一、一二)

七五二 宮崎業功 蕃茄青枯病豫防對石灰硫黃合劑經濟的濃度檢知試驗(一一—一二)

茄子青枯病と品種との關係試驗(一二)

七五三 長野業概 茄子耐病品種試験(一一三)

茄子褐色圓星病に關する調査(一一三)

七五四 新潟業報 茄子品種と病蟲害との關係(九)

茄子立枯病防除試験(九)

七五五 農試(農商務省)事功 青枯病發生土壤に茄子の連作試験(九)

蕃茄の斑點病の研究(一一二)

七五六 佐賀業功 茄子青枯病豫防試験(一一)

七五七 滋賀業功 茄子青枯病試験(一一)

茄子青枯病抵抗性品種調査(一一三)

七五八 島根業功 蕃茄病害豫防試験(九—一〇)

茄子青枯病豫防試験(九—一〇)

七五九 東京業功 茄子立枯病豫防試験(一一三)

七六〇 和歌山成績 茄子品種の青枯病に對する耐抗力に關する調査(一〇)

七六一 山形業功 茄子連作と青枯及立枯の豫防(一一)

茄子防旱試験(一一三)

(以上茄科植物(茄子、蕃茄)の病害)

七六二 長野業概 胡蘆葡斑點病豫防試験(一一)

七六三 新潟業功 胡蘆葡斑點病豫防試験(一一—一三)

七六四 滋賀業功 胡蘆葡斑點病抵抗性品種調査(一一三)

七六五 千葉業報 野蜀葵菌核病豫防に關する試験(一一—一三)

(以上歐形科植物(胡蘆葡、野蜀葵)の病害)

七六六 愛媛業功 薑腐敗病抵抗性系統選抜試験(九—一二)

七六七 京都業功 生薑痺病豫防試験(九—一〇)

七六八 大分業功 薑腐敗病豫防試験(九—一〇、一一—一三)

薑腐敗病對病性品種試験(一一三)

本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二一—五—一六、蔬菜、花卉類)

七六九 埼玉業功 薑腐敗病豫防試驗(一〇—一三)

七七〇 滋賀業功 薑腐敗病豫防試驗(一一—一二) (以上薑科植物(薑)の病害)

七七一 埼玉業功 里芋腐敗病豫防試驗(一〇—一三) (以上天南星科植物(水芋、里芋)の病害)

七七二 兵庫業功 佛掌薯葉枯病に關する調査及豫防試驗(一一—一二) 薯類葉枯病豫防試驗(一三)

七七三 山口業年 佛掌薯病害豫防試驗(一三) (以上薯類科植物(佛掌薯、薯蕷)の病害)

七七四 廣島業功 葱露菌病豫防試驗(一二)

七七五 北海道業概 葱頭白腐病に關する調査(一〇)

七七六 宮城業功 葱萎縮病に關する試驗(一一—一二)

七七七 農試(農商務省)事功 葱萎縮病治療試驗(九—一〇) (以上百合科植物(葱、葱頭)の病害)

七七八 秋田業報 甘藍腐敗病豫防試驗(九—一二)

七七九 廣島業功 菜類白斑病豫防試驗(八) 菜類白斑病防除試驗(九—一〇)

七八〇 福岡業年 白菜類腐敗病被害試驗及豫防試驗(九) 甘藍硫黃華施用試驗(一三)

七八一 兵庫業功 白菜病害豫防試驗(一二)

七八二 茨城業功 白菜腐敗病豫防試驗(九) 結球白菜腐敗病豫防試驗(一〇)

結球白菜白斑病豫防試驗(一〇—一二)

七八三 鹿兒島業功 蔓菁黑竹病豫防試驗(八、一〇—一二) 蔓菁黑竹病品種試驗(一二)

蔓菁黑竹病種子消毒試驗(一二)

七八四 熊本業功 大根腐敗病豫防として石灰の効力試験(一一)

七八五 三重業報 十字科植物根瘤病豫防試験(一一—一二)

七八六 新潟業報 白菜腐敗病豫防試験(九)

七八八 農試業功 甘藍の腐敗病に關する研究(一二)

七八九 岡山業功 漬菜類根腐病に關する試験(一二—一三)

七九〇 佐賀業功 體菜白斑病豫防試験(一二)

七九一 滋賀業功 莖苔及薑豆菌核病豫防試験(九)

薑薑菌核調查(九)

十字科蔬菜の炭疽病菌に關する研究(一三)
薑薑菌核病と肥料との關係試験(一二)
蔬菜白斑病豫防試験(一二—一三)

七九二 島根業功 白菜白斑病豫防試験(九)

七九三 山形業功 白菜白斑病豫防試験(一二)

(以上十字花科植物(漬菜、白菜、體菜、大根、薑苔、甘藍)の病害)

七、林木、觀賞樹木並に竹類の病害に關する事項

七九四 原 攝 祐(二四) 杉の赤枯病に就て

病蟲一一・五〇二—一〇

七九五 長谷川 孝 三(二五) 杉赤枯病豫防試験特に剪技法に就きて

帝室林野局林試報告二ノ二〇・二七—二九

七九六 逸 見 武 雄(二五) 樹木に及ぼす雨水の害に就きて

病蟲一二・六〇五—六一三

七九七 飯 黒 友 三(二三) 杉苗赤枯病に對する銅石鹼殺効力試験(第十一)

林試彙報一〇・六三—六、一六・六七—九〇

七九八 堀 正 太 郎(二二) 櫻の病害蟲

學藝三九ノ四八九・二七

本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二一—五)一七、林木類

七九九 出 田 新(二三) 續日本植物病理學上卷

一—三九八 農華房

八〇〇 今 枝 直 規(二二) 杉苗赤枯病の驅除豫防に關する試験

林試報告抄錄二・一六八—九

八〇一 北 島 君 三(二二) ハチク開花後に發生する變態竹に就て

林試彙報四・五七—六七

八〇二 同 (二二) ツクバネガシの炭疽病に就て

林試彙報五・二九—三四

八〇三 同 (二二) クレオソート油の木材防腐効力に關する研究

病蟲八・二六—三一

八〇四 同 (二二) 杉菌赤枯病の研究(第二回報告)

林試報告抄錄二・一七〇—七

八〇五 同 (二二) 青森ヒバ材の耐原因に就て

同 二・三三六—七

八〇六 同 (二二) 杉苗の癌腫病に關する研究

同 二・三八八—九二

八〇七 同 (二四) 若竹蔓自然枯病に就て

林學會二・二〇—五

八〇八 同 (二四) 苦竹水枯病に關する觀察

同 二五・一—七

八〇九 同 (二四) 北米產木材の耐朽性

同 二六・二七—九

八一〇 同 (二五) 苦竹水枯に就て(一九二三講演)

日本植病會報一ノ六・六八

八一一 同 (二五) 杉樹枝枯病に就て

林試報告二六・一四七—六六

八一二 同 (二五) クリの葉枯病に就て

林試彙報一六・九一—一〇七

八一三 村 鐘 三 郎(二二) 樹木材部の着色及防腐試験

林試報告抄錄二・三四七—五二

八一四 同 (二三) 林木と菌根との關係(第二回報告)

林試報告二・三・一〇—一六

八一五 三 浦 伊 郎(二三) 樹木の毒殺

學藝四〇ノ四九七・四二—七

八一六 同

(二三) 林産物の需給關係上木材防腐保存法

同 四〇ノ五〇・一・三八―三三

八一七 村田壽太郎(二五)

用材の防腐に就て

中央園藝二七・三・二〇―三

八一八 南部信方(二一)

櫛類の病害に就て

病蟲八・七八―八一

八一九 同

(二一) 庭樹盆栽類の病害に就て

同 八・二〇〇―二

八二〇 同

(二一) 庭園樹木盆栽類の病害に就て

同 八・二八五―七

八二一 同

(二一) 庭樹盆栽類の病害

同 八・四〇〇―一

八二二 同

(二一) 苗圃の病害調査に就て

同 八・四九一―三

八二三 同

(二一) 天狗巢病並に苗木病害菌に就て

同 八・五五三―五

八二四 同

(二一) 庭園樹木の病害に就て

病蟲九・八一―三、二八九

八二五 林業試験場(二一)

枕木防腐試験

報告抄録二・三三八―四二

八二六 同

(二五) 落葉松を害する蛾蟻及煤病の防除法

時報一・二八―三〇

八二七 同

(二五) 赤松の煤病に就て

同 一・三〇―一

八二八 同

(二五) 落葉松の癌腫病に就て

同 一・三一―二

八二九 同

(二五) サンシュの病害に就て

同 一・三三一―四

八三〇 同

(二五) 栗樹蟲癭に就て

同 一・三六―七

八三一 末松直次(二五)

應用植物學各論上卷

一―二九 養賢堂

八三二 杉浦庸一(二一)

木材防腐劑効力比較試験

林試彙報五・三五―四〇

本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二一―五)―七、林木類

本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二一—五)一八、雜類

一五六

八三三 高橋憲三・小玉肇次郎(二五) プナの伐採季節と腐朽との關係

林試彙報一六・二二四—三五

(農事試驗場業務功程、事業報告等)

八三四 京都業功 淡竹自然枯試驗(八九、一〇、一一、一二)

黒竹自然枯試驗(八九、一〇、一一、一二)

蔓自然枯試驗(九、一〇、一一)

竹蔓自然枯病驅除試驗(一二)

竹林水枯病試驗(一二)

八、雜類(以上七項目の何れにも該當し難き物)

八三五 大野 悅 平(二四) 野鼠と其驅除法に就て

静岡農試時報二ノ二、六一—

八三六 荒川 左千代(二五) 肥料問題と根瘤菌について

農家の友三三七・三五—七、三三八・五二—四

八三七 麻生 慶次郎(二一) 細菌肥料フハルモヂヤーム類の肥効に就て

大日本農會四八〇・一—五

八三八 ト藏 梅之丞(三一) ハンノキケムシの軟化病に關する研究(一二)

病蟲八・六五一—二二、九・九〇—三

八三九 同 (一二) 大正十年の病害界と吾人の希望

同 九・四—八

八四〇 同 (二四) 大正十二年の病害の概況と吾人の希望

同 一一・五一—八

八四一 同 (二五) 苗木取締問題に就きて

同 一二・一五—七

八四二 後藤 一雄(二四) 懸滴培養に用ふるデツキガラスより溶出するアルカリの花粉の發芽に及ぼす影響に就きて

植維三八・六五—七三

八四三 原 攝 祐(二二) 静岡縣下愛鷹山麓野鼠驅除狀況

病蟲九・一一六—二一

八四四 同 (二三) 大正十一年度地方農會報誌上の病蟲害記事

同 一〇・二〇—四—七

八四五 同

(二三) 野鼠に就きて

同 一〇・四八二一六

八四六 同

(二四) 金毛蟲の疫病の發生

同 一一・三五一一三

八四七 服部廣太郎(二三)

米國製生物學用染料に就て

植維三六・一四七一九

八四八 日野巖(二五)

土壤中プロトゾアが植生に及ぼす影響に就て(講要)

農學會二七七・四九三

八四九 平野敬藏・日野巖(二五)

土壤中プロトゾアと游離窒固定との關係に就て(講要)

同 二七七・四九三

八五〇 北海道農試(二一)

水田雜草マツバキ並にアオミドロ類の防除に關する調査及試驗成績

農試報告一一・一一二八

八五一 堀正太郎(二三)

重要作物及農産物の病害損害統計

病蟲一〇・四七九一九二

八五二 出田新(二一)

ウオロニン氏の略傳

同 八・三二五七七

八五三 同

(二五) 我國に於ける植物病理學の略史

日本植病會報一ノ六・四八―五二

八五四 稻村宗三(二一)

移出植物検査品並に之に寄着する病蟲害

臺灣農事報一五・一〇九―一四

八五六 板野新夫(二五)

土壤微生物並に其促進劑(英文)

札幌農林一七・三九三―三八六、農學會二七六・三四六―五一

八五七 笠井幹夫(二三)

菌學者クリスチアン・ヘンドリフク・ベルゾーン

病蟲一〇・二四一二一

八五八 同

(二四) 南米の菌類學者ドクトル・カアロス・スベガチニ

同 一一・六〇五一八

八五九 北島君三(二五)

柿澁塗布材の耐朽原因に就て

林試彙報一六・一〇九―一三三

八六〇 額頴理一郎(二五)

植物凋萎に對する土壤の水分保留力測定用としてオジギサウを利用することに就て(獨文)

植維三九・一五二一八

八六一 小室英夫(二五)

イネ發育に及ぼせるX線作用

同 三六・一五一七、(歐文)二五一七

八六二 同

(二二)

X線を放射せしソラマメの細胞に於ける變化と惡性腫瘍のそれとの類似(彙報)

同 三六・九七一〇一、(歐文)四一一四

本邦に於ける植物病害に關する文獻目錄(一九二一―五)一八、雜類

一五七

- | | | | |
|-----|---------------------|---|--------------------|
| 八六三 | 小室英夫(二四) | 稻の砂芽に對するレントゲン線の影響の研究(英文) | 植維三八・二—二〇 |
| 八六四 | 新沼農試(二四) | 野鼠毒劑驅除試驗 | 特別報告一九・二—一六 |
| 八六五 | 大河原四郎(二五) | 紫雲英に對する根瘤菌の肥効に就て | 大日本農會五三四・二四—六 |
| 八六六 | 岡山縣內務部(二二) | 病蟲害驅除豫防成績(一〇年) | 產業叢書五七編一—三六 |
| 八六七 | 小野寺伊勢之助(二二) | 紫雲英の水稲生育に及ぼす有害作用の原因に關する研究(第三報)紫雲英分解の際に生ずる瓦斯體の水稲生育に及ぼす影響 | 農學會二二五・四四九—七五 |
| 八六八 | 同(二二) | 紫雲英に依る水稲生育に及ぼす有害作用の改良試驗 | 同 二二六・五一七—三五 |
| 八六九 | 坂村徹(二二) | 蒸溜水中に於けるアミドロの自家中毒に就きて | 植維三六・一五一—七二、一八七—九六 |
| 八七〇 | 同(二四) | 植物の生活現象と水素イオン濃度との關係に於て見る二頭曲線に就て | 同 三八・四八—五五 |
| 八七一 | 坂村徹・羅宗洛(二五) | 種々の濃度の水素イオンによる植物原形質の受くる影響に就て(獨文) | 同 三九・六一—七五 |
| 八七二 | 關本清太郎(二二) | 好蟲類の一寄生菌に就て | 病蟲三八・三五—四七 |
| 八七三 | 白井光太郎(二五) | 植物病氣と其生存要件 | 中央園藝二六五・五三—五 |
| 八七四 | 尙農生(二二) | 野鼠驅除法の早解 | 農家の友二七・三一—二 |
| 八七五 | 臺灣農事報(自第一號至二〇〇號總目錄) | 臺灣農事報一七ノ七附錄一—三〇 | 臺灣農事報一七ノ七附錄一—三〇 |
| 八七六 | 同(二三) | 中央研究所農業部出版物一覽 | 同 一七ノ二・二八〇—六 |
| 八七七 | 同(二三) | 殖産局出版一覽(農業に關係ある物) | 同 一七ノ二・二七〇—八〇 |
| 八七八 | 田宮博(二四) | セロイデン用自動式ミクロトーム新考案に就て | 植維三八・二五—三七 |
| 八七九 | 田中長三郎(二二) | 國內植物検査規定の制定を望む | 病蟲三八・三一—七 |

八八〇 千賀崎 義香(二二) 熱及各種の消毒薬に對する溶菌性細菌と卒倒菌並に馬鈴薯菌との抵抗力との比較

農試彙報一四・一一三二

八八一 同 (二二) 各種の酸の溶菌性細菌上に及ぼす消毒作用に就て

同 一四・三三—六五

八八二 千賀崎義香・渡邊綱夫(二二) 生糸繰糸湯竝に繰越繭の腐敗に就て

同 一一・一—三二

八八三 同 (二二) 生糸繰糸湯竝に繰越繭の防腐に就て

同 一一・三三—六九

八八四 山羽 儀兵(二五) 固定液に就て(一—四)

植維三九・三六—四一、六九—七六、一〇三一—一六、一三二—四〇

八八五 同 (二五) 固定液の水素イオン濃度に就て(豫報)

同 三九・一六四—七

(農事試験場業務功程、事業報告等)

八八六 愛知業功 蟬蟻寄生菌に關する試験(七)

八八七 福岡業年 地衣類驅除に關する試験(一〇)

八八八 農試(農林省)事功 亞硫酸瓦斯の植物に及ぼす障害に關する試験(九)

野鼠の種類調査(一〇)